

14.2₁
418



始



142
4/8

大正八年十月

調查資料

第四十六號

臨時產業調查局

142x-418

一九二八年に於ける支那貿易の概況

目次

第一節 綜説……………一頁

 外國貿易額十年對照表……………四頁

第二節 各地方に於ける貿易狀況……………五頁

 第一款 滿洲……………七頁

 第二款 北部支那……………七頁

 第三款 中部支那……………九頁

 第四款 南部支那……………九頁

第五款 全國各港に於ける貿易額……………一二頁

 一 純輸入額及總輸出額……………一二頁

 二 直接貿易額……………一五頁

大正 8. 11. 13 寄贈

寄贈本

注意

- 1 臨時産業調査局は、戦時及戦後に亘り施設すべき産業上重要な事項を調査するものにして、其の目的とする所は極めて重大なる點に存するも、其の參考資料として調査若くは翻譯したる事物も、一般を裨益する所尠からずと認むるを以て、茲に本誌上に於て便宜編纂したるものなり。
- 2 本誌所載の調査中、意見に亘るものは調査擔當者の意見とす。
- 3 本誌所載の翻譯は、主として鈔譯なり。故に原文の順序を顛倒し、又は説明的記述を加へたるものあり。
- 4 本誌は調査及執務の便宜上、印刷を以て筆寫に代へたるものなり。公刊するの趣旨にあらず。

臨時産業調査局

第三節 各國との貿易の消長	一九
輸出入額國別表	二三
日本對支那貿易額	二八
日本對關東州貿易額	二九
對支那貿易地方別表	二九
第四節 重要商品輸出入狀況	三〇
第一款 輸入	三〇
重要商品輸入額	三六
日本より輸出重要品種類及輸出額	三五
支那へ輸出重要品種類及輸入額	五九
第二款 輸出	六六
重要商品輸出額	八〇
支那より輸入重要品種類及輸入額	八二
日本へ輸入重要品種類及輸入額	八四
第五節 船舶の出入	八五
出入船舶數	八五
輸出入品價額船籍別一覽表	八五

同上指數	八六
第六節 金銀の輸出入	八七
金銀輸出入額	八八
金銀輸出入額國別表	八九
一 輸入	八九
二 輸出	九〇

附 錄

支那在留各國人數

九一

一九一八年に於ける支那貿易の概況

第四部 調査

(囑託 吉田虎雄)

第一節 綜 説

歐洲戦争の支那貿易上に及ぼせる影響は本年に至り益甚しきを加へ、外洋航路及沿岸航路に従事せる各國、船舶は或は戦争の爲め喪失し、或は政府に徴發せられて、倍々其數を減じ、運賃は昂騰に次ぐに昂騰を以てし、歐米より支那に輸入する商品は爲めに著しく高價となり、爲替相場の漲高せるに拘らず、其需要大に減じ、加之交戦各國は屢々輸出入品の制限をなし、本年に至りては益々其範圍を擴張せしかば、支那産の輸出も亦頗る打撃を受けたり。又露國に於ては過激派出現以來擾亂止まず、信用は根柢より破壊せられ、支那茶の最大市場は之が爲めに斷絶し、滿洲と西比利亞との邊境貿易も、聯合國の要求に依り一時輸出を禁止せし爲め、少からざる影響を受くるに至れり。

銀塊相場も前年に比し一層騰貴し、四十二片二分の一より四十九片二分の一の間を上下せり。隨て爲替相場も大に暴騰し、倫敦宛參著拂相場は一上海兩に對し一月に於ける四志二片八分の五より九月

に於ける五志六片四の一に騰貴し、十二月には稍下落せしも、尙ほ五志一片四分の一を保ちたり。されば一海關兩に對する平均爲替相場は前年は四志三片十六分の十三なりしが、本年は五志三片十六分の七となれり。

夫れ環境の形勢已に此の如くなるに、支那國內に於ては又流血の政争あり、繁華の都會は變じて戦亂の巷となり、加之土匪各地に横行し、瘡痍滿目、内外貿易は一層累を受くるに至れり。

支那に於ける流血の政争とは所謂南北戦争にして、本年に入りてより其慘禍益々擴大せり。南方聯軍は廣東、廣西、貴州、雲南、四川の各省を包捲し、湖南、江西、福建の一隅の地を據有し、廣東省城に軍政府を設立して各種の租税を徵收し、其餘の各省は仍ほ北京政府の治下に在りて、互に相對峙せり。南軍既に長沙を攻陥するや、北軍を省外に逐ひ、楊子江右岸に沿ふて長驅して進み、繼で又江を渡りて湖北に侵入し、省中の堅城多く割據せられ、沙市は陥落し、宜昌附近又困圍せられたり。即ち省城武昌も亦風鶴の驚あり、武昌及漢口市街の居民大に恐慌を起し、財貨を携へて漢口居留地及下流各地に趨避する者多かりしが、間もなく又戰機逆轉して湖南、湖北再び北軍の手に歸するに至れり。而も此干戈擾攘の際に當り豐都大邑一再掠奪に遭ひ、此等地方の住民は痛苦備さに嘗め、其狀凄慘を極めたり。殊に軍兵蹂躪の區域頗る廣大なるのみならず、鐵道の如きも各幹線は終歲軍隊輸送に忙しく、商品の運輸不便を極め、貿易及人民の生計に害を及ぼすこと少からざりき。嘗て臨時招募の廣西

軍隊あり、紊れて統率者なく竟に漢口宜昌航路の汽船を銃撃し、甚しきは外國砲艦にして彈丸を受けたるものあり。宜昌重慶間亦同様の暴舉あり、乃ち漢口より上流は我日清汽船會社定期船の外は一時航行を停止するに至れり。

本年春蒙古に發生せし「ペスト」は山西、直隸、山東に蔓延し、南は南京に及べり。支那政府は極力之が防禦に勉め、尙ほ漢口、南京、上海の鐵道發著地に於ては外國人の協力を得て、嚴に豫防を行ひしかば、幸に夏季に至り消滅せりと雖も、之が爲め人を傷ふこと少からざりしのみならず、一時貿易上にも亦打撃を與へたり。

本年は前記の如く内外幾多の原因に依り大に貿易を阻碍せりと雖も、而も從來支那に見る所の洪水、旱魃、饑饉の三巨災は幸に之を免かるゝことを得、農産物の收穫も概して豊裕なりしを以て、輸出入額も豫想外の多額に達するを得たるは支那の爲めに喜ぶべき事なりと謂ふべし。

本年の支那の對外貿易額は輸入五億五千四百八十九萬三千〇八十二兩(純輸)輸出四億八千五百八十八萬三千〇八十一兩、合計十億四千〇七十七萬六千一百十三兩にして、前年に比し輸入に於ては五百三十七萬四千三百〇八兩、輸出に於ては七千二百九十五萬一千四百〇一兩の増加を示し、輸出入總額に於ては歷年未だ見ざるの多額に上れり。而も此は輸出入品の價格騰貴の結果にして、數量に於ては前年に比し大に減少せるを見る。

左に最近十ヶ年間に於ける外國貿易額比較表を示すべし。

○外國貿易額十年對照表 (單位兩)

年次	輸	入	輸	出	計
一九〇九年	四八、一五八、〇六七	三三八、九九二、八二四	七五七、一五〇、八八一		
一九一〇年	四六、九六四、八九四	三八〇、八三三、三二八	八四三、七九八、三三三		
一九一一年	四七、五〇三、九四三	三七七、三三八、一六六	八四八、八四二、〇〇九		
一九一二年	四七三、〇九七、〇三一	三七〇、五〇〇、四〇三	八四三、六二七、四三四		
一九一三年	五七〇、一六一、五五七	四〇三、三〇五、五四六	九七三、四六八、一〇三		
一九一四年	五六九、二四一、三八二	三六六、三六六、六二九	九二五、四八八、〇一一		
一九一五年	四五四、四七五、七一九	四一八、八六一、一六四	八七三、三三六、八八三		
一九一六年	五二六、四〇六、九九五	四八、七九七、三六六	九九八、二〇四、三六一		
一九一七年	五四九、五八、七七四	四六、九三三、六三〇	一、〇一、四五〇、四〇四		
一九一八年	五五四、八九三、〇八二	四八九、八三三、〇三一	一、〇四、〇七六、一三三		

第二節 各地方に於ける貿易狀況

第一款 滿洲

本年滿洲各關中輸出入共に増加せるは大連、愛琿の兩關にして、其他は或は輸入に減じ、或は輸出に減じ、或は又輸出入共に大に減少せるものあり、就中北滿各關の貿易は愛琿を除くの外著しく減退せり。

蓋露國の動亂は本年の北滿貿易に大なる影響を及ぼせり。そは西比利亞に於ける過激派と反過激派との争鬭の爲め、北滿と西比利亞との交通は水陸共に大なる障害を受け、加之本年一月中支那政府は綏芬河以外の各關より露領に對する露領に對する各種商品の輸出を禁ずるに至れるが故にして、就中輸出禁止は最も貿易減退の一大原因をなせり。幸に五月中黑龍江に於ける船舶の航行を許し、夏頃聯合軍隊の西比利亞出動を見るに至り、通商亦舊に復するを得たりと雖も、而も露貨の暴落は貿易を阻碍すること尠からざりき。

されば北滿各關に於ける對外貿易額は著しき減退を示し、哈爾濱及所屬各關(滿洲里、綏芬河)の直接貿易額は輸入五百二十二萬四千兩、輸出九百三十一萬一千兩、合計一千四百五十三萬五千兩に過ぎずして、前年に比し輸入に於ては三百五十五萬三千兩、即ち四割強、輸出に於ては二千一百四十六萬四千兩即ち

約七割の激減を示せり。

本年は浦潮に於ける船舶の入港少く、且東清鐵道の運賃を平時の七倍に引上げた等の爲め、北滿大豆の南下して大連に出づるもの大に増加せるが、東清鐵道貨車不足の爲め馬車にて長春に出づるものも多かりき。然るに南滿鐵道も亦輸送力不足の爲め寬城子、長春並に東清、南滿兩鐵道沿線に大豆の大停滯を來し、夏季に至り日本軍隊の北滿出動、支那軍隊の西比利亞出動の爲め南滿鐵道は益々貨車の不足を告げ、停滯貨物は益々甚しきに至れり。

本年滿洲に於ける農産物は南北を通じて豊稔なりしも、輸出は振はざりき。但豆油は米國に於ける需要大に増加し、豆粕も亦日本に於ける需要多かりし爲、大連の輸出貿易は盛況を呈したり。

大連の直接外國貿易額は輸入六千六百九十八萬兩、輸出八千〇九十八萬兩、合計一億四千七百九十六萬兩にして、前年に比し輸入は八百七十萬六千兩(五分一割)、輸出は二千九百四十萬兩(七分五割)の増加を示せり。蓋本年の滿洲貿易は各關を通じて概して不況なりしに拘らず、獨り大連の貿易額が此の如く多額に達せる所以は、南滿洲に於ける工業の勃興及建築の盛行に伴ひ、金物類、機械類、セメント等の輸入増加せると、豆油、豆粕の輸出好況なりしとに在るべく、尙ほ從來綏芬河を經由せし北滿大豆の南下して大連より輸出せらるゝに至りしことも、輸出増加の一原因をなせり。

安東の對外貿易額(直接貿易)は輸入二千一百八十萬八千兩、輸出一千一百七十七萬七千兩、合計三千三

百五十八萬五千兩にして、前年に比し輸出に於ては二百五十二萬四千兩を増加せるも、輸入に於ては六百七十一萬二千兩(七分二割)の減少を示せり。此は北滿貿易不振の影響として、哈爾濱向通過貨物の減少せるに由るべく、又輸出の増加は柞蠶絲及豆粕の日本に於ける需要増加せるを主因とすべし。

朝鮮鐵道は從來滿洲特産物に對し特約運賃制を設け、責任數量を定めたりしが、前年より責任數量を廢し、何人にも特約運賃に均霑するを得ることゝなれる爲め、從前海路より出でし豆粕も、陸路を經由するに至り、隨て前年まで鴨綠江の結水中は輸出なかりし豆粕も、今や一年を通じて輸出せらるゝに至り、其産額輸出額共に大に増加せり。安東の豆粕産額は前年までは約三十萬枚なりしが、本年は三百五十六萬枚に増加せり。

安東に於ける柞蠶絲製絲業は前年來大に發展し、柞蠶絲の輸出額も隨て増加せり。本年は柞蠶兩の收穫は南滿洲全體を通じて春蠶秋蠶共に減少せしが、日本に於ける柞蠶絲の需要旺盛なりし爲め、安東の輸出額は増加せり。從來安東に集まりたる柞蠶繭は芝罘に移出せらるゝもの多かりしが、今や地方の消費は移出額に超過するに至れり。

牛莊の貿易は益々振はず、本年の外國品純輸入額は戰前(一九一二年)に比し六百八十四萬一千兩(四分三割)を減じ、又内國品總輸出額(沿岸移出を含む)は一千四百九十二萬九千兩(六分一割)の減少を見たり。

第二款 北部支那

北部支那は一般に棉花其他農作物は豊收なりしと雖も、貿易は不振を免れざりき。此は第一節に陳べたるが如く、外は交戦各國に於ける輸出入の制限、銀價の激騰、船腹の不足及運賃の暴騰、内は南北の争亂、土匪の猖獗「ペスト」の流行等に因りて大に障礙を受けたればなり。殊に京漢鐵道並に津浦鐵道が軍隊の爲めに貨車を徵發せられ、商品の輸送に大障害を來せると、土匪の横行とは最も大なる影響を與へたり。本年は北部、中部、南部に互り土匪の害を受くること頗る大なりしが、就中山東省最も甚しく、山東鐵道沿線を除くの外許多の市鎮村落は均しく劫掠に遭ひ、其狀慘憺たるものありき。

北支那各港に於ける本年の外國貿易總額は外國品の純輸入一億〇六百九十二萬六千兩、内國品の直接輸出五千〇四十九萬二千兩にして、之を前年に比較すれば輸入に於ては六百三十三萬五千兩、輸出に於ては九百六十一萬二千兩の増加を示せりと雖も、本年は輸出入品共に其價格大に騰貴せるを以て、數量の上には増加多からず。殊に輸入品の價額中には、政府の購入に係り、日本より輸入せられし兵器彈藥の價額一千二百五十七萬兩を包含せるを以て、之を差引くときは、本年の輸入貿易額は前年に比し遙に減少せるを見るべし。(前年は兵器彈藥の輸入なし)

北支那地方は前年小麥の收穫歉薄なりし爲め、本年は上海より多量の小麥粉を移入せり。又上海綿絲の青島、天津等に移入せられしもの頗る多かりき。

本年天津の貿易は輸出入共に増加せしが、青島は之に反せり。即ち青島の直接外國貿易額は輸入一

千六百九十七萬四千兩、輸出一千五百四十萬八千兩、合計三千二百三十八萬二千兩にして、前年に比し輸入は八十五萬一千兩、輸出は一百四十九萬一千兩の減少を示せり。其主因は土匪の騷擾に在るべしと雖も、而も制錢の輸出杜絶せることも亦輸出貿易減退の一大原因をなせり。蓋前年までは制錢を鑄潰し銅塊として輸出するもの頗る多かりしが、本年は銅價の下落と爲替相場の高騰との爲め、殆んど杜絶するに至れるなり。

本年青島に於ける日本「マッチ」の輸入は大に減退せり。此は青島及濟南に於ける「マッチ」工場の生産増加せるに由るなり。

芝罘の港灣改築は其工事に進捗せり。蓋該計畫は防波堤及突堤を設くるに在りて、其突堤は埠頭に連接せしめ、直に汽船を横附にし得ること、なるべきを以て、其工事成の上は貨物の積卸も大に便利となり、該港貿易の發達に寄與すること頗る大なるものあるべし。

第三款 中部支那

中部支那一帶は天候適順にして、米其他の農作物は豊登を告げたるに拘らず、貿易は振はざりき。

此は主として内亂の影響にして、殊に長江上流並に中段地方其累を受くること甚しかりき。即ち上游地方に於ては許多の民船及船夫は軍隊の爲めに徵發せられ、商品の輸送不便を極め、加之該地方航行の船舶は屢、軍隊の爲めに劫掠せられたり。宜昌及沙市に於ても貿易は戦争の爲め大に打撃を受け、秋

季大總統の新任までは其情形回復せざりき。

湖南省は南北兩軍の蹂躪を受くると最も甚しかりしが、就中長沙、岳州の如き雙方の軍隊忽進忽退、搶掠頻りに行はれ、其狀凄慘を極めたり。されば全省の貿易は年末休戦に至るまでは起色なかりき。長江下流に於ても、江西への軍隊の來往は、津浦鐵道に由りたる爲め、商品の輸送は之が爲め大に阻礙せられたり。

本年に於ける中部支那各港の外國貿易總額(直接貿易)は輸入二億六千二百〇一億九千兩、輸出二億一千五百四十五萬兩、合計四億七千七百四十六萬九千兩にして、前年に比し輸出に於ては一百〇六萬二千兩を増加せるも、輸入に於ては十七萬七千兩の減少を示せり。而も本年は前節に述べたるが如く輸出入品共に其價格大に騰貴せるを以て、輸出貿易も亦數量に於ては前年に比し減退せるを推知するに難からず。而して重なる各港に就き觀察するに上海及蕪湖、寧波は前年に比し貿易額増加せるも、漢口九江、南京、重慶、宜昌等は大に減退せり。又長沙の貿易額は外國よりの直接輸入は前年よりも増加し居れども、純輸入額は減退せるを見る。

本年長江中段は棉花の産額大に増加せり。此は從來豆を栽培せし者が、棉の種植をなすもの増加せるに由る。されば日本に對する棉花の輸出は頗る盛況を呈したり。之に反し漢口の茶貿易は甚だ減色を現はし、同地の磚茶製造所の如き一時製造を中止する程なりき。

本年英國綿布の輸入は大に減少し、或種のものには日本品之に代はり、江西省の如きは日本綿布類は全省の需要の七割を占むるに至れり。支那産の金巾及「ドロール」も外國品と競争して益、販路を擴張せり。四川省に於ては支那綿絲の移入甚だ多く、主として内地の各織布地方に消費せられたり。

粵漢鐵道の北段長沙武昌間は本年九月十六日より開通せり。但其汽車は終歲軍隊及官吏の爲めに佔用せられ、一般の運輸は大に阻礙せられたり。

安徽省に於ける裕繁公司は本年其鐵鑛探掘地(桃冲)より荻港江岸に至る延長五哩の輕便鐵道を敷設し、已に開通せり。荻港は蕪湖を距る上游三十哩の地に在り、此處より鑛石を輸出せり。

第四款 南部支那

南部支那地方は春夏兩季淫雨の災あり、米作歉收を告げ、爲めに廣東に於ける米價の暴騰は六十年來見ざる所なりき。

南北釐を開きてより廣東軍と龍濟光軍との間に屢、戰鬪あり、其間に乘じて土匪の跳梁あり、加ふるに天候不順にして農作物の收穫減少せる爲め、本年の貿易は大に不振を免れざりき。

南部支那各關に於ける外國品の純輸入額は一億二千九百五十七萬六千兩にして、前年に比し三百十萬〇四千兩の減少を示し、又内國品の直接輸出額は一億一千〇五十五萬二千兩にして、前年に比し十三萬五千〇三十二兩の減少を示せり。本年の南支那貿易が如何に不振なりしかを見るに足るべし。

本年支那産の綿絲綿布は北支那地方に於けるが如く賣行甚だ多く、又日本綿布は雲南に於ける需要極めて多かりき。

雲南個舊の錫は歐洲休戦後其相場下落せる爲め、輸出は前年に比し減退したり。又之と同時に「タングステン」礦も輸出杜絶し、多量の滞貨を見たり。之に反し北海の滿僱鑛は輸出甚だ盛なりき。

第五款 全國各港に於ける貿易額

一、純輸入額及總輸出額

關名	一九一八年		一九一七年	
	純輸入品	純内輸出品	純輸入品	純内輸出品
愛琿	一、三三七、九六	二、三九七、二五	三、八六〇、九三	二、七九一、〇〇
三姓	二、〇〇、八五	四、三八、二四七	一、四八四、六九〇	一、四八五、五五
滿洲里	二、四、八九	一、〇六、一四三	一、八八三、七〇四	二、三三七、六四八
哈爾濱	—	七、五九一、五四〇	九、五九〇、五五七	二、三三三、四七八
綏芬河	三、三〇九、一八六	—	一、〇、六五六、六八三	一、七九八、二五〇
輝春	四、五五、七七〇	—	九、四四、七九	四二、二二七
龍井村	一、五八二、四五	—	二、七七〇、二五	四六、九三六
安東	二、八七、〇九	二、六四六、二二	四、一五九、一三	二、七五二、三八〇
大東溝	—	—	—	—
計	一三、三九九	一五、六六八、八八	七〇、六六五	六二、四八

關名	一九一八年		一九一七年	
	純輸入品	純内輸出品	純輸入品	純内輸出品
大連	六、八、七〇、三三	一一、〇九一、二七	一六、八二四、二七	一五、九八五、一〇
牛莊	九、二〇九、五九	一一、一三七、五九	二九、九八八、一六	二八、八八、四九
秦皇島	四、七四、〇五	一、〇九五、四九	二、三三三、四〇〇	一、〇三三、七四
天津	七、八〇、八九〇	二、八、四九、六八	一、五、一八〇、五五	一、四三、三六
龍口	五〇〇、九六〇	二、〇五三、一六	三、二九、六七	三、七六、二九
芝罘	五、六四七、九〇	九、〇九五、〇四	一六、〇九四、九一	一五、三三二、一五
膠州	三、一九四、三二	一一、七二八、四九	二九、五三三、五〇	二五、七二、七七〇
重慶	四、八四、四二	一、〇三、八四、六七	一四、八七二、六九	一五、〇一八、五五
萬縣	八〇三、五九	二、一七、六四〇	二、六六五、三〇	一、二九七、六九
宜昌	六八二、九四八	一、〇七三、六九	二、一四二、五九	二、五〇、二九七
沙市	三、二三四、〇九	一、〇五七、七二	二、一六九、九七	一、五五、二九七
長沙	八、五九二、五八	三、六三八、八三	一〇、七四〇、四六	一、五三、三九
岳州	三、六四四、八五	一、〇三七、〇九	五、六〇、二二	二、三三、七〇
漢口	四三、四一七、九〇	一、八九九、〇〇	一〇、一八五、三八	一〇、一六三、二九
九江	九、一六、三四	九、七三三、二八	二二、一八〇、二九	二、五〇六、五九
蕪湖	九、七五九、四五	六、一四三、四三	二、九三三、七二	七、五五、〇三
南京	二、〇九五、五五	三、八二四、七五	八、〇七五、四二	七、四四、六三
鎮江	一〇、四三、五五	五、三〇〇、一〇	三、三三二、七三〇	三、三八八、五二
上海	八八、三八四、八八	六、〇五三、八六	一、五〇、八九、四七	一、〇〇、一九、七四
蘇州	三、〇九、三九	八二〇、五八	一四、三四、一五	一、八、九七、七五
計	一四、三三三、一五	一八、〇四四、八七	一八、〇四四、八七	一八、九七、七五

杭州	五,六三,四三三	三,七六,八六九	九,六九,七九二	一八,六八,〇六二	五,七四,二〇七	三,九二,二五三	一一,三四,四七三	二二,〇〇,八三三
寧波	九,九〇,八六八	五,九九,九二九	一四,四一,八三三	二九,九六,七〇〇	九,三八,三〇九	五,〇五,一三四	一〇,六八,〇〇〇	五,〇七,五三三
温州	一,五五,六三三	八,六九,六六八	一,〇二,一三〇	三,三九,七二二	一,三三,二五五	七,四九,九三六	一,二五,〇〇元	三,三三,二三三
三都澳	一,七二,三六	一九,九六三	一,四三,八六三	一,七九,九七二	二,九九,三五〇	一九二,三四四	二,〇四,九六八	二,五三,五六三
福州	五,一三,五八九	二,九四,二三三	七,三三八,四〇八	一五,六四,二二九	五,三九,五三三	二,九九,一三六	六,八七,五七五	一五,三三,二六九
厦門	七,四〇,九六六	三,九八,〇四八	二,四九,八七六	一三,九九,二六三	七,八四,五四四	四,三〇,四一九	二,五七,五六六	一四,六〇,二一九
汕頭	三,七九,六六九	二,二七,八五七	一五,三四,七三二	五〇,一八,九七七	一四,〇三,六九九	二,〇〇,四九五	一四,七九,二二七	五二,〇〇,三五二
廣東	二七,三四,七三三	一七,九五,九三三	五八,〇〇,七九五	一〇三,三六,〇〇八	二七,三〇,八二五	二〇,二九,二七七	五五,四〇,七四三	一〇三,八四,四四〇
九龍	三三,二九,二七九	五,一四,一四八	一四,二八,九八五	五,六四,四二二	三三,六三,二八五	六,〇三,七三四	一四,七,六九九	五三,八八,七〇九
同(龍運)	二,六四,〇一六	—	七六,九,六〇八	二,九九,六四四	二,三三,七六四	—	一,三九,九〇〇	三,六三,六六四
拱北	八,三三,六三一	三,五五,〇三七	四,八二,〇五二	一三,五三,九〇〇	一〇,六五,六四四	四,九,四六一	五,一六,八三九	一六,二八,五〇三
江門	三,四九,八二五	一,五〇,〇〇〇	一,一三,五九九	四,五六,九三三	三,七七,二八八	—	一,四〇,一三八五	五,一七,八六三
三水	二,五〇,九三六	七,二,七五〇	一,四三,五五五	四,六三,三三四	三,三八,四〇七	—	一,九三,四七七	六,三三,五六九
梧州	七,五〇,八四九	一,七四,六六五	六,三三,七四四	一五,五九,〇三六	七,六八,三九七	一,六六,六三三	五,九六,一四五	一五,四九,一六七
南寧	二,八四,〇三四	一,〇八,九四四	三,〇八,二一八	六,九〇,七三六	二,七五,八四八	九〇九,二三八	三,三〇,三八〇	六,九九,三六六
瓊州	二,二八,三三二	六,一,八八三	二,一九,六三三	四,五三,六七五	三,三三,三三八	一一〇,一八五	二,四九,六七二	五,九七,〇九四
北海	一,三九,四四五	四,九四	一,四三,八〇五	二,八九,七三四	一,六〇,四三三	三,五三四	一,一一,二六〇	二,七二,三三六
龍州	九一,六八〇	—	七,九三二	九九,六〇二	五,三,五三一	—	四,五三〇	五七,〇八一
蒙自	九,〇七,〇七一	四,四七,一五四	二,三九,八八八	二〇,八三,〇四三	五,八六,七二五	四三,四四六	二,八六,五六八	一八,七三,八四九
思茅	二〇,八七,六六	—	三,二四九	二四〇,一八七	二,五,七三三	—	二九,六三三	二,六五,〇〇八

勝越	二,五七,三三六	—	一,四三,五四七	三,九三,八八三	二,〇〇,四三二	—	七九四,四九八	二,九九,九〇〇
合計	五五三,五二六,〇七二	三,八,三九九,〇〇九	七六,一〇五,四七七 (海外輸出) 四八,八三三,〇三三 (沿岸輸出) 二七,二七三,四四四	一,三三,〇八,六二九 (内國品純輸入) 入ヲ含マズ	五五三,四九九,〇六九	二五,四二,一六七	七〇,一〇〇,一〇六 (海外輸出) 四六,九三三,〇三〇 (沿岸輸出) 二三,一六六,〇七六	一,二五,二五八,三三三 (内國品純輸入) 入ヲ含マズ

備考

總輸出額中には支那沿岸に對する輸出額を包含す。但他港より輸入せられたる貨物の再輸出を含まず。

哈爾濱に於ては外國品の再輸出額が純輸入に超過すること一九一八年には三百七十四萬七千八百七十五兩、一九一七年には五百三十八萬一千九百九十兩にして、又滿洲里に於ても一九一七年には再輸出が純輸入に超過すること五百九十四萬七千九百七十三兩に及べり。

二、直接貿易額

港別	一九一八年		一九一七年	
	輸入	輸出	輸入	輸出
愛琿	一一四,三九〇	一一六,〇九五	四八,一六一	七三,五四四
三姓	二二,一〇〇	二〇四,八九三	一一,六一〇	九二,五八〇
計	一三六,四九〇	一三二,〇九五	五九,六七一	一六五,九八八

滿洲里	一,三五六八二	一,六三六三四	二,九九三,一五三	二,八六九,三三八	一一,一六九,九一一	一四,〇三九,一四九
哈爾濱	一二九,一三八	二,二七,四一九	三五六,五五七	九三,四二二	一,六二二,九六五	一,七二六,三八七
綏芬河	三,七三八,一九三	七,四四七,四九七	一一,一八五,六九〇	五,八一四,〇三二	一七,九八二,五五〇	三三,七九六,五七二
琿春	五七一,一九五	五〇八,九九九	一,〇八〇,一五四	四四七,三六一	四二,一三三	八六八,五九八
龍井村	一,五八二,四二五	一,一八七,六九〇	二,七七〇,一五	八一,一七七	四六九,九五六	一,二八一,一三
安東	二,八〇八,四八四	二,七七七,二四七	三,五八五,七三二	二八,五二〇,九九	九,二五三,一〇五	三七,七七三,二〇四
大東溝	三三六	一一,二七	二,六〇二	四八二	二七,六五四	二八一,三六
大連	六六,九九六,六二六	八〇,九七六,〇七二	一四七,九五五,六九八	五八,二七四,四九七	五一,五七五,五四一	一〇九,八五〇,〇三八
牛莊	四,九三四,七三	四,二五九,九〇〇	九,一九四,六三三	五,〇八八,五四〇	二,七九五,二五六	七,八八三,七九八
秦皇島	三,六三六,四六八	三,五七六,九六五	七,二二三,四三三	一,四一五,九二〇	二,八二六,九六六	四,四二二,八八六
天津	五九,三三七,八三三	二六,八三,一九七一	八六,一九〇,七九四	五三,五一,五八七	一七,三七五,九三五	七〇,八八七,五三二
龍口	一,三三三	七,一一七	七,二五〇〇	八,九五〇	一〇,一一五	一九,〇六五
芝罘	六,三六六,〇五一	四,六二,三七一	一〇,九七九,四三二	八,九五九,〇七七	三,七六七,二七九	一一,七三二,三五六
膠州	一六,九九三,七八六	一五,四〇八,三三一	三三,三八,一一七	一七,八二四,七七二	一六,八九九,二〇一	三四,七三三,九七三
重慶	四三七,五二二	二〇七,〇七七	六四四,五八九	六五七,一七〇	二五五,五九四	九二,七六四

萬縣	一一,一五五	一,六三七	一一,二九三	一一,四六一	一,六四〇	一三,一〇二
宜昌	四四五,七二五	—	四四五,七二五	二四六,二七一	—	二四六,二七一
沙市	三五〇,八二〇	二	三五〇,八三二	二八四,九七〇	二四五	二八五,二二五
長沙	二,〇二八,九七一	一,二四八	二,〇二〇,二一九	一,三五七,〇二四	一,八五八	一,三五八,八八二
岳州	四,八九五	—	四,八九五	六,七八九	三三,七三〇	三〇,五一九
漢口	三〇,九七四,八九三	一〇,五六六,四〇七	四一,五六,三〇〇	三六,七五五,二七八	二二,七六七,七七六	四九,五三三,〇五四
九江	一,五三八,一〇五	一,九九六	一,五〇〇,一〇二	二,四三三,六三二	一,四五五	二,一四五,〇八六
蕪湖	一,九〇八,一五二	六〇〇,六五七	二,五〇八,八〇九	一,二七四,五二八	二七八,八六五	一,五五三,三九三
南京	一,六五九,八〇五	二,一八九,九〇〇	三,八四九,七〇五	一,六六一,一七四	三,六六四,六九〇	五,三三五,八六四
鎮江	四,三七三,九二二	五六二,六九一	四,九三六,六〇三	四,八三三,六四八	三五,四三五	四,八六八,〇八三
上海	二二四,九六七,九七七	二〇二,二九〇,八四三	四一六,二五八,七五〇	二二〇,〇八五,九九〇	一九七,三五四,六九九	四〇七,四四〇,六四九
蘇州	三二,九九五	—	三二,九九五	二四,一〇二	—	二四,一〇二
杭州	一九五,六四	—	一九五,六四	一三六,五四六	—	一三六,五四六
寧波	三,〇六七,〇七二	七,一三七	三,〇七四,二〇九	二七〇,五九六	一七,〇〇四	二七〇,七六三〇
溫州	二二,三三三	二九二	二二,三三四	一一,八四六	—	一一,八四六

三都澳	二四、六三三	五、三五八	二九、九八〇	二七、五三三	二七〇	二七、七九三
福州	四、一三四、三九四	三、五二四、五〇〇	七、六四八、八九四	四、五六二、六六七	二、一八五、二二五	六、七四七、八八二
厦門	七、三六五、九一九	一、九二六、四七三	九、二九二、三九一	八、〇〇三、一五五	一、八四三、一四二	九、八四六、二九七
汕頭	一三、三六四、三三三	八、九五〇、七七四	二二、三二五、一二七	一三、五九八、三六三	九、七二一、三六〇	二二、三二九、七三三
廣東	二八、二二五、五五四	五〇、四三六、四四五	七八、六五一、九九九	二七、八七四、四〇〇	四九、九九四、〇六六	七七、八六八、四六六
九龍	三三、二六九、二七九	一四、二八三、九八五	四七、五五三、二六四	三三、六三三、二八五	一四、一七二、六九〇	四七、八〇五、九七五
九龍(廣九鐵道)	二、一六四、〇一六	七、六九六、〇〇八	二、九三三、六二四	二、三八四、四三六	一、三九九、九〇〇	三、六四三、三三六
拱北	八、三三六、六三二	四、八二一、〇五二	一三、一五七、六八三	一〇、六九五、六四四	五、一六八、三九七	一五、八四四、〇四一
江門	三、四〇三、三七七	一、一三五、五九八	四、五三八、九七五	三、七八八、九三三	一、四〇一、三八五	五、一九〇、三〇七
三水	二、三四八、一三三	四〇、二六七	二、七六八、七八五	三、三三六、六二二	七、三九九、八九八	三、九七六、五二〇
梧州	九、〇九〇、九〇八	五、七三二、五四四	一四、八三三、四三三	九、二二三、〇一〇	四、九〇四、九〇二	一四、一七九、二二二
南寧	七、六一〇、六六九	二、〇七〇、七八六	二、八三三、八五五	一、一〇九、一三五	二、一六二、一七一	三、二七一、三〇六
瓊州	二、三〇三、〇六二	二、一八八、八八八	四、四九一、九五〇	三、三三九、一〇二	二、三四九、一〇一	五、六八八、二〇三
北海	一、三九七、二五四	一、四三一、八〇五	二、八二九、〇五九	一、六二二、一三二	一、一〇三、三七九	二、七三三、五〇七
龍州	九、一六八、〇	七、九二二	九、九六〇	五、二五五、二	四、五三〇	五、七〇八、二

一八

蒙自	九、〇三五、六九〇	一一、三九八、八二八	二〇、四三四、五〇八	五、九二一、三九九	一一、八六五、六六八	一八、七六七、〇二七
思茅	二〇八、七六八	三、二四一九	二四〇、一八七	二、三五、三七三	二、九、六三五	二、六五、〇〇八
騰越	二、五二七、三三六	一、四二五、五四七	三、九五二、八八三	二、二〇三、四二二	七、九四、四九八	二、九九六、九一〇
合計	五七七、六四三、八〇三	四八五、八八三、〇三二	一、〇六三、五二六、八三四	五七七、三八一、三三九	四六二、九三二、六三〇	一、〇四〇、三二二、九九九
再輸出(上海)	一一、五九〇、七五六			八、〇三七、八一九		
同(其他諸港より)	一〇、一九九、九六五			一九、八二四、七四六		
再輸出計	二二、七八〇、七二二		二二、七八〇、七二二	二七、八六二、五六五		二七、八六二、五六五
純計	五五四、八六三、〇八一	四八五、八八三、〇三二	一、〇四〇、七四六、一一三	五四九、五一八、七七四	四六二、九三二、六三〇	一、〇一二、四五〇、四〇四

備考

本表所載の輸出入額は外國との直接貿易額にして沿岸貿易額を含まず、故に前表と計數符合せず。輸入は再輸出を控除せざるものなり。

第二節 各國との貿易の消長

支那と諸外國との間に於ける一九一八年の直接貿易の状況を査するに、日本、比律賓、蘭領印度、加奈陀、深洲及香港との貿易は前年に比し輸出入共に増加し、佛領印度支那、英領海峽植民地との貿易

は輸入に於ては増加せるも、輸出に於て減退し、朝鮮、佛蘭西及伊太利との貿易は輸出に於ては増加せるも、輸入に於て減退し、暹羅、英領印度、英本國、丁抹、西班牙、葡萄牙、露西亞、米國、墨西哥並に澳門との貿易は輸出入共に減退し、和蘭、白耳義、瑞典、諾威、獨逸、埃匈國に對する貿易は全く杜絶し、瑞西との貿易も輸入は稍増加せるも輸出は杜絶せり。

本年歐洲諸國(露國を除く)との貿易額は一億一千七百八十二萬九千兩にして、前年に比し五百〇九萬兩を増加せるも、之を戰前(一九一三年)に比較すれば一億三千六百九十七萬二千兩、即ち五割三分七厘の減少を示し、支那の總貿易額に對し僅に一割一分を占むるに過ぎざるなり。蓋本年の對歐貿易は前記の如く佛伊兩國に對する輸出は稍増加せるも、其他の諸國との貿易は或は輸出入共に減少し、或は全く杜絶せるものあり、爲めに此の如き結果を見るに至れるなり。而して佛伊兩國に對する輸出が増加せるは蠶絲の輸出好況なりしに由るべし。

英國との貿易は大に振はず、即ち英國よりの輸入四千九百八十九萬兩、支那よりの輸出二千五百二十六萬五千兩、合計七千五百十五萬五千兩にして、前年に比し輸入に於ては二百〇九萬九千兩、輸出に於ては八十二萬五千兩の減少を示し、更に之を一九一三年に比較すれば輸出に於ては八百九十一萬八千兩を増加せるも、輸入に於ては四千七百〇二萬一千兩即ち四割八分の減少を示せるを見る。本年の對英貿易が前年に比し顯著なる減退を見たるは、船腹の不足と同國に於ける輸出入の制限とを以て

其主因とすべし。

英領印度との貿易も本年は大に減退せり、即ち前年は輸入二千六百九十八萬九千兩、輸出六百九十五萬兩、合計三千三百九十三萬九千兩なりしが、本年は輸入七百九十八萬九千兩、輸出六百〇三萬八千兩、合計一千四百〇二萬七千兩に下り、輸入に於ては一千九百萬兩、輸出に於ては九十一萬二千兩の減少を示せり。此は輸入に於ては綿絲及「ガンニー」袋の減少と阿片貿易の杜絶、輸出に於ては生絲(蠶絲)の減少を主因とすべし。尙ほ本年の對印貿易額を戰前即ち一九一三年に比較すれば輸出に於ては大差なきも、輸入に於ては六分の一にも達せざるを見る。(一九一三年の輸入額は、四八、二九二、〇〇〇兩)蓋本年の輸入貿易が戰前に比し此の如く激減を來せるは前記の如く綿絲及麻袋の減少にも因るべしと雖も、阿片貿易の杜絶を以て最も主要なる原因とせざるべからず、何となれば從來印度よりの輸入品は阿片を以て最とし、其一九一三年の輸入額は四千〇八十九萬兩に及びたるに、本年より全く之が輸入を見ざるに至りたればなり。

米國との貿易は前年は大に盛況を呈せしが、本年は輸出入共に減退せり、本年の對米總貿易額は一億三千五百八十二萬兩、此内輸入五千八百六十八萬六千兩、輸出七千七百十三萬四千兩にして、前年に比し輸入に於ては二百二十七萬五千兩、輸出に於ては一千七百六十五萬二千兩の減少を示せり。蓋本年の貿易額が此の如く減少せるは輸入に於ては石油、輸出に於ては茶、生絲、獸皮、蛋白等の貿易が

甚だ振はざりしに由るべく、尙ほ同國に於ける輸入品の制限も亦輸出貿易に大なる影響を及ぼせり。而も本年の對米貿易額を對歐貿易額に比較すれば多きこと一千七百九十九萬兩に及びり。露國に對する貿易は本年は甚だ振はず、即ち歐露との貿易は既に杜絶し、亞露との貿易も亦輸出と共に大に減少せり。本年の對露貿易額は輸入六百三十八萬九千兩、輸出一千四百六十萬三千兩、合計二千〇九十九萬二千兩にして、前年に比し輸入に於ては四百八十二萬九千兩即ち四割三分、輸出に於ては三千五百十四萬七千兩即ち七割一分六厘の激減を示せり。尙ほ本年の對露貿易總額を戰前即ち一九一三年に比較すれば四千六百〇八萬二千兩即ち六割九分弱の減少なりとす。

日本(臺灣を)との貿易は歐戰以來年々異常なる發展を現はし來り、本年は特に顯著なる増進を見たり。本年の對日本貿易額は日本より輸入二億三千八百八十五萬九千兩、支那より輸出一億六千三百三十九萬四千兩、合計四億〇二百二十五萬三千兩の多額に達し、之を前年に比較すれば輸入に於ては一千七百十九萬二千兩、輸出に於ては五千七百六十二萬兩の増加を示し、支那の總貿易額に對し輸入に於ては四割一分、輸出に於ては三割三分六厘を占めたり。尙ほ右輸出入額に朝鮮との貿易額を加算するときは四億二千六百三十九萬五千兩となり、支那の總輸出入額の四割強に當り、支那對歐洲貿易額の三十六割二分に當れるを見る。

左に最近五ヶ年間に於ける輸出入國別表を掲げ支那と各國との直接貿易の消長を示すべし。

○輸出入額國別表 (單位兩)

國別	一九一八年	一九一七年	一九一六年	一九一五年	一九一四年
香港	輸入 一六二、九一八、八一六 輸出 一一六、九八八、〇三二 計 二七九、一七九、八三七	輸入 一五八、六〇二、四八八 輸出 一一五、八四二、九四六 計 二七四、四四五、四三四	輸入 一五三、三三七、六二四 輸出 一一九、四八五、六五〇 計 二七二、八三三、二七四	輸入 一四八、四三六、一八九 輸出 一〇四、一六九、九三八 計 二五二、六〇六、一三七	輸入 一六七、九九三、八五三 輸出 九四、四二八、五二七 計 二六二、四二二、四三三
澳門	輸入 四二、八四、九三三 輸出 四五、七七、七二六 計 八八、二二七、〇九	輸入 四六、五四、〇九二 輸出 四九、三九、四六九 計 九五、三、五六二	輸入 五、一三六、二四四 輸出 三、六九六、五七二 計 八、八三二、八一六	輸入 五、二四六、六三五 輸出 四、九四九、五四六 計 一〇、一九六、一八一	輸入 五、九四〇、二二二 輸出 四、二五九、九二二 計 一〇、一五、一四三
佛領印度支那	輸入 二、七五九、二八一 輸出 一、五九三、五〇四 計 四、三九二、七八五	輸入 二、四六一、九七六 輸出 一、六二一、九八四 計 四、〇八三、九六〇	輸入 三、五八四、七五一 輸出 一、四四三、八三〇 計 五、〇二七、五八一	輸入 三、二四九、七六四 輸出 一、七四四、〇〇〇 計 五、〇一四、一六四	輸入 五、六一七、七三三 輸出 一、八〇七、七八〇 計 七、四二五、五二二
暹羅	輸入 三、九五、三六〇 輸出 一、九七二、〇三〇 計 二、〇六七、三九〇	輸入 五、五三、八五二 輸出 二、三六六、〇七九 計 二、九一九、九三二	輸入 五、五二、三四六 輸出 三、〇三三、五九〇 計 三、五七五、九三六	輸入 五、〇六、三四三 輸出 三、一四六、三三五 計 三、六〇〇、九七九	輸入 九、八七二 輸出 二、三三〇、一六 計 二、三三九、九八八
英領海峽植民地	輸入 一〇、三三一、五四四 輸出 六、四〇〇、五三二 計 一六、七三二、〇六六	輸入 六、八七七、七九二 輸出 六、六七四、八五三 計 一三、五五二、六四四	輸入 四、六〇二、八四九 輸出 八、三四八、七三五 計 一三、九五一、五八〇	輸入 五、三八一、三八六 輸出 八、八九三、〇四〇 計 一四、二七四、四二六	輸入 七、六六三、七二〇 輸出 六、九六八、五一九 計 一四、六三二、二三九
蘭領印度	輸入 八、五六四、八九七 輸出 二、五九二、〇〇六 計 一、一五六、九〇三	輸入 四、五二五、六四一 輸出 一、七三三、七七八 計 六、二五九、四一九	輸入 五、三三〇、三三三 輸出 二、三三四、七三六 計 七、六六五、〇五八	輸入 六、七三六、七二八 輸出 二、七三五、七九三 計 九、四六二、五二二	輸入 六、五九四、二二二 輸出 二、九二二、三五四 計 九、五一六、五六五

和蘭	白耳義	佛蘭西	西班牙	荷蘭	瑞西	伊太利
輸入 1,110 輸出 344 計 766	輸入 759 輸出 759 計 1,518	輸入 1,568,859 輸出 3,046,677 計 4,615,536	輸入 2,610 輸出 1,845,111 計 4,455,221	輸入 1,366,311 輸出 377 計 1,366,688	輸入 356,674 輸出 96,347 計 453,021	輸入 356,674 輸出 96,347 計 453,021
輸入 33,625 輸出 26,356 計 7,269	輸入 759 輸出 759 計 1,518	輸入 2,130,916 輸出 2,556,079 計 4,686,995	輸入 2,130 輸出 1,927,911 計 4,057,841	輸入 662 輸出 3,695 計 4,357	輸入 467,999 輸出 3,958,244 計 4,426,243	輸入 467,999 輸出 3,958,244 計 4,426,243
輸入 1,130,393 輸出 1,059,998 計 2,190,391	輸入 774 輸出 774 計 1,548	輸入 2,837,884 輸出 2,726,959 計 5,564,843	輸入 5,397 輸出 1,395,811 計 1,391,414	輸入 482 輸出 1,468 計 1,950	輸入 359,936 輸出 6,305,978 計 6,665,914	輸入 359,936 輸出 6,305,978 計 6,665,914
輸入 519,360 輸出 2,155,740 計 2,675,100	輸入 3,464,707 輸出 3,464,707 計 6,929,414	輸入 2,430,599 輸出 3,047,688 計 5,478,287	輸入 810 輸出 95,561 計 96,371	輸入 1,012 輸出 1,273 計 2,285	輸入 444,182 輸出 9,340,675 計 9,784,857	輸入 444,182 輸出 9,340,675 計 9,784,857
輸入 1,377,270 輸出 5,080,256 計 6,457,526	輸入 1,740,243 輸出 5,444,908 計 7,185,151	輸入 4,951,471 輸出 2,559,924 計 7,511,395	輸入 2,318 輸出 26,493 計 28,811	輸入 1,526 輸出 2,337 計 3,863	輸入 777,896 輸出 5,765,644 計 6,543,540	輸入 777,896 輸出 5,765,644 計 6,543,540

英領印度	土耳其、波斯、埃及、雅典其他	英吉	諾威	瑞典	丁抹	獨逸
輸入 7,988,896 輸出 6,037,892 計 1,951,004	輸入 3,800,621 輸出 3,047,853 計 752,768	輸入 49,890,293 輸出 25,264,589 計 24,625,704	輸入 9,868 輸出 101 計 9,767	輸入 9,868 輸出 101 計 9,767	輸入 598,522 輸出 598,704 計 1,197,226	輸入 50 輸出 50 計 100
輸入 26,999,184 輸出 6,950,387 計 33,949,571	輸入 1,307,717 輸出 1,353,503 計 45,786	輸入 5,999,135 輸出 26,089,759 計 32,088,894	輸入 247,539 輸出 9,833 計 257,372	輸入 340,113 輸出 1,680 計 341,793	輸入 674,244 輸出 1,687,823 計 2,362,067	輸入 50 輸出 50 計 100
輸入 3,754,841 輸出 6,599,999 計 10,354,840	輸入 88,211 輸出 2,160,319 計 2,248,530	輸入 70,353,029 輸出 34,918,546 計 35,434,483	輸入 1,816,614 輸出 8,967 計 1,825,581	輸入 1,588,004 輸出 1,499,297 計 3,087,301	輸入 1,276,966 輸出 2,160,350 計 3,437,316	輸入 24,820 輸出 321 計 25,141
輸入 40,753,196 輸出 7,942,664 計 48,695,860	輸入 309,642 輸出 2,749,245 計 3,058,887	輸入 71,558,735 輸出 31,934,621 計 103,493,356	輸入 587,833 輸出 4,509 計 592,342	輸入 926,565 輸出 2,167,761 計 3,094,326	輸入 1,366,228 輸出 1,618,062 計 3,000,000	輸入 160,458 輸出 85 計 160,543
輸入 39,149,254 輸出 6,776,819 計 45,926,073	輸入 1,777,379 輸出 2,159,936 計 3,937,315	輸入 105,207,580 輸出 22,767,781 計 127,975,361	輸入 49,975 輸出 3,268 計 53,243	輸入 1,187,056 輸出 2,351,621 計 3,538,677	輸入 381,549 輸出 688,851 計 1,070,400	輸入 166,946 輸出 1,063,327 計 1,230,273

朝	日	露	露	露	露	露	奧
鮮	本	西	西	西	西	西	國
計	計	計	計	計	計	計	計
輸入 一〇,四七三,二二三	輸入 一六三,三九四,〇九二	輸入 四,六七六,八三〇	輸入 一,五九三,一三七	輸入 一,八五八,一三五	輸入 二,六五,〇〇八	輸入 一,二七三,四八三	輸入 一〇,三五
輸出 二四,一四二,六三三	輸出 四〇二,二五二,六七〇	輸出 一一〇,三七六,六一	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,五九三,一三七	輸出 二,六五,〇〇八	輸出 一,二七三,四八三	輸出 一〇,三五
計 一四,四四一,九四〇	計 一〇,四七三,二二三	計 一,五九三,一三七	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五	計 二,六五,〇〇八	計 一,二七三,四八三	計 一〇,三五
輸入 二〇,四三三,〇〇六	輸入 一〇,四三三,〇〇六	輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五
輸出 八,五〇四,六二四	輸出 八,五〇四,六二四	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五
計 一五,一〇六,一三五	計 一五,一〇六,一三五	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五
輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五	輸入 一,八五八,一三五
輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五	輸出 一,八五八,一三五
計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五	計 一,八五八,一三五

比	加	北	墨	南	濠	南	南
律	奈	米	西	亞	洲	亞	亞
賓	陀	合	哥	米	及	米	弗
諸	陀	衆	及	利	尼	利	利
島	陀	國	中	加	紐	加	加
輸	輸	輸	輸	輸	輸	輸	輸
入	入	入	入	入	入	入	入
輸入 三,一九三,五五四	輸入 一〇,三五五,五六二	輸入 五,六八六,〇四四	輸入 七,七三三,二四五	輸入 一,二二二,六〇九	輸入 九,五五,五四五	輸入 一,三三〇,九五一	輸入 七,四六四
輸出 五,三四六,七五一	輸出 四,一〇五,六一五	輸出 七,七三三,二四五	輸出 一,二二二,六〇九	輸出 二,二九七,四九六	輸出 一,三三〇,九五一	輸出 一,三三〇,九五一	輸出 二,七八五
計 一〇,三三〇,二五九	計 一四,四六一,一七七	計 一五,四一九,二五三	計 八,九五六,八六四	計 三,五二四,一〇五	計 一〇,八八六,四六六	計 二,六六一,八六六	計 一〇,二四九
輸入 一,七〇六,六七九	輸入 九,〇九四,三四七	輸入 六,〇九〇,七七七	輸入 九,四七六,三九九	輸入 一,五七四,七〇六	輸入 三,八六八	輸入 五,一七六	輸入 四,六六八
輸出 一,五〇二,八八五	輸出 二,六八六,五三二	輸出 九,四七六,三九九	輸出 一,二二二,六〇九	輸出 一,五七四,七〇六	輸出 三,八六八	輸出 五,一七六	輸出 四,六六八
計 三,二〇九,五六二	計 一一,七八〇,八六九	計 一五,七〇二,〇七六	計 一〇,七〇三,〇〇八	計 三,一四九,四一二	計 七,七三六	計 一〇,三五五	計 九,三三六
輸入 二,二九二,八七五	輸入 一,〇七五,〇三二	輸入 七,二〇八,七〇五	輸入 一,二二二,六〇九	輸入 一,二二二,六〇九	輸入 四,六六八	輸入 九,四九	輸入 一,三三〇
輸出 三,三六七,九二二	輸出 三,三六七,九二二	輸出 一,二二二,六〇九	輸出 一,二二二,六〇九	輸出 一,二二二,六〇九	輸出 四,六六八	輸出 九,四九	輸出 一,三三〇
計 五,六六〇,七九七	計 四,四四二,九五四	計 八,四三一,三一四	計 二,四四四,二一七	計 二,四四四,二一七	計 九,一三六	計 一〇,三五五	計 二,六六八
輸入 三,六四四,四八三	輸入 七,八七三,〇五	輸入 三,七〇三,四九九	輸入 一,二二二,六〇九	輸入 一,二二二,六〇九	輸入 四,六六八	輸入 九,四九	輸入 一,三三〇
輸出 一,九四四,一七	輸出 一,五一一,九六	輸出 四,〇九三,一八八	輸出 一,二二二,六〇九	輸出 一,二二二,六〇九	輸出 四,六六八	輸出 九,四九	輸出 一,三三〇
計 一,九四四,一七	計 三,〇九一,〇〇五	計 七,八六六,三七六	計 二,四四四,二一七	計 二,四四四,二一七	計 九,一三六	計 一〇,三五五	計 二,六六八
輸入 一,九四四,一七	輸入 一,九四四,一七	輸入 一,九四四,一七	輸入 一,九四四,一七	輸入 一,九四四,一七	輸入 一,九四四,一七	輸入 一,九四四,一七	輸入 一,九四四,一七
輸出 一,九四四,一七	輸出 一,九四四,一七	輸出 一,九四四,一七	輸出 一,九四四,一七	輸出 一,九四四,一七	輸出 一,九四四,一七	輸出 一,九四四,一七	輸出 一,九四四,一七
計 一,九四四,一七	計 一,九四四,一七	計 一,九四四,一七	計 一,九四四,一七	計 一,九四四,一七	計 一,九四四,一七	計 一,九四四,一七	計 一,九四四,一七

輸 入 額 計	内 再 輸 出 額		純 輸 入 計
	輸 入	輸 出	
五七六四三、八〇三	二七五〇、七二二	五五四九三、〇八二	一、四〇七、七六一三
五七七、三八一、三三九	二七、八六二、五五五	五四九、五八七、七四四	一、〇二二、四五〇、四〇四
五五、二六八、四二六	一八、八六一、四三二	五六、四〇六、九九五	九、九八、二〇四、三六一
四七七、〇六四、〇〇五	二二、五八八、二八六	四五四、四七五、七一九	四一八、八六一、一六四
五八四、二〇九、〇〇三	一四、八六七、六二二	五六九、二四一、三八二	三五六、三六六、二九九
		四八、七九七、三六六	九、九八、二〇四、三六一
		四八、七九七、三六六	九、九八、二〇四、三六一

尙ほ日本の貿易統計に依り最近五ヶ年間に於ける日本對支那及關東州貿易（臺灣との貿易額を含まず）を示さば左の如し。

○日本對支那貿易額 (單位圓)

年 次	日 本 ヨ リ 輸 出	支 那 ヨ リ 輸 入	合 計
大 正 三 年	一六三、七〇、九四	五八、三〇五、七六三	二二〇、〇六六、七〇七
同 四 年	一四一、二二、五六六	八五、八四七、七三五	二二六、九七〇、三二二
同 五 年	一九七、七二、六六	一〇八、六三八、六三六	三〇六、四一三、三〇二
同 六 年	三三八、八〇、五三〇	一三三、二七一、〇三六	五二二、〇六一、五六六
同 七 年	三五九、一五〇、八一四	二八、七〇七、三三三	六四〇、八五八、一四七

○日本對關東州貿易額 (單位圓)

年 次	日 本 ヨ リ 輸 出	關 東 州 ヨ リ 輸 入	合 計
大 正 三 年	二二、七三〇、七九	三、一七七、〇一九	五三、五四七、三九八
同 四 年	二二、一〇〇、八〇二	二七、八一九、〇九二	五〇、〇一九、八九四
同 五 年	三七〇、五九、九一〇	三三、九五三、八九七	七二、〇一三、八〇七
同 六 年	六五、七四、八三八	五三、一八〇、一九九	一八、八九五、〇三七
同 七 年	一一六、三三、九七二	一〇〇、六一九、〇五六	二六、九三、〇三八

○對支那貿易地方別表

地 方 別	日 本 ヨ リ 輸 出		支 那 ヨ リ 輸 入	
	大 正 七 年	大 正 六 年	大 正 七 年	大 正 六 年
滿 洲	四四、七〇、〇八一	四九、三〇〇、一八三	三〇、六五三、七七二	二二、七九〇、九〇
北 支 那	一〇三、六九、八八一	九二、八六八、六八一	六三、四九三、九四一	三〇、五七一、六六四
中 支 那	二〇一、五九、六四一	一六九、五五四、八九五	一七四、五四七、三五九	七三、七七四、七三

南部支那	一八七三、〇八五	一、四九三、八六一	九九六四、九八八	六、八八六、二八四
不詳	七三七五、二五	五、一六二、九一〇	三、〇四七、二七三	九〇六、五二五
計	三五九一、五〇八四	三、八三八〇、五三〇	二、八一七〇七、三三三	一、三三二、七、〇三六

第四節 重要商品輸出入状況

第一款 輸入

一九一八年に於ける輸入品の總價額は五億七千七百六十四萬四千兩、此内外國へ再輸出二千二百七十五萬一千兩、差引純輸入五億五千四百八十九萬三千兩にして、前年に比し五百三十七萬四千兩の増加を示せり。此數字より見れば本年の支那の輸入貿易は前年よりも好況なりしが如しと雖も、其實は各種商品の價格が著しく騰貴せるが爲め、斯の如き結果を來せるものにして、數量より見れば大に減退し居れり。此は下表に掲ぐる重要輸入品中數量價額共に増加せるものは甚だ少く、價額に於て増加せるものも、數量に於ては減少せるもの多きに見て之を知るべし。されば本年の輸入貿易は前年よりも一層沈衰の状態に在りしなり、其原因は既に第一節に於て説明せる所なり。

支那に於ける最も重要なる輸入品は綿製品なるが、本年は其輸入大に不振を極めたり。試みに平織

生地綿布並に重なる加工綿布の輸入額を比較するに左の如きものあり。

○平織生地綿布(生金巾、晒金巾、生シタンケ)輸入額

年次	英國製	米國製	日本製	其他	合計
一九一四	一〇、四七二、八九〇 <small>兩</small>	一、〇四〇、一〇〇 <small>兩</small>	七、七七一、八〇六 <small>兩</small>	一一七、九〇〇 <small>兩</small>	一九、三五八、六九六 <small>兩</small>
一九一五	七、五九一、四七八	六、三七六、四六六	五、七七七、一六八	二〇一、一一三	一四、一四八、四三三
一九一六	五、四五三、五七三	四、三二一、八四	五、五八八、八九五	三四六、九二〇	一、一八〇、二、五七一
一九一七	四、三九七、四二一	七、一五三、二	八、〇四五、八二六	六四九、七三五	一三、一六四、四八三
一九一八	二、六三四、四三三	一、〇〇八、五四	七、〇〇七、四八八	六七八、五二九	一〇、四二一、九〇四

○重なる加工綿布(更紗、緋金巾、イタリアン、メネ)輸入額

一九一四	五、七九一、〇三四
一九一五	三、四六四、九一三
一九一六	三、五八九、一四四
一九一七	五、〇七一、八九六
一九一八	四、三四五、一四四

前表に依れば英米品、日本品共に減退せるを知るべし。又綿フランネルの如きも、前年は一、〇二七、五五七疋の輸入を見たりしが、本年は五一四、九五〇疋即ち約半額に激減し、日本白木綿も亦前年の一〇六、六四七、〇二〇碼より八三、八七二、七六九碼に減じたり。

綿織絲の輸入も本年は大に振はず。殊に印度綿絲の減少最も甚しかりき、此は孟買よりの船腹の缺乏と、本國相場の昂騰とに由るなり。今日印綿絲の輸入額を比較するに左の如し。

	一九一八年	一九一七年
印度絲	三〇,九六三 <small>兩</small>	一六,三九六 <small>兩</small>
日本絲	七四五,九五九	三五,三八八 <small>兩</small>
其他	七,六九六	三,三六六 <small>兩</small>
瓦斯絲及染絲	一七,〇三三	一,四七五 <small>兩</small>
計	一,三三,六一二	五三,五九一 <small>兩</small>

前表に依れば、印度綿絲は前年に比し數量に於ては六割二分の減少を示し、日本綿絲も亦價額に於ては増加せるも數量に於ては三割の減少を示せるを見る。而して本年の綿織絲輸入總額が前年に比し數量に於ては四割五分を減せるに拘らず、價額に於ては僅に一割五分を減せるに過ぎざるを以て見れ

ば本年の綿絲相場が如何に昂騰せしかを知るに足るべし。

本年支那綿絲の産額は一十萬二千三百四十九擔、(此價額約五千五百七十六萬兩)にして、前年の一〇一萬八千四百七十一擔に比し稍増加せりと雖も、外國綿絲の輸入が前記の如く激減せるを以て見れば、支那に於ける本品の需要が大に減退せるを知るべし。此は内亂及土匪の騷擾の爲め内地輸送困難なりしが故にして、殊に綿絲の需要多き四川省の内亂は最も之が輸入に影響したり。

毛製品及毛綿製品の輸入も前年に比し減退せるが、絹織物及人造絹絲織物は數量價額共に稍増加せり。

金屬及鑛石類の純輸入總額は三千七百六十四萬兩にして、前年に比し一千二百五十萬兩を増加せり。其増加尤も大なるは銅(錠塊及)にして前年は二萬七千六百五十八擔、此價額一百十三萬六千兩なりしが、本年は十二萬一千四百〇八擔、四百二十七萬三千兩となり、價額に於ては三百十三萬七千兩の増加を示せり、此は銅貨鑄造用として日本よりの輸入増加せるに由る。尙ほ條鐵、管鐵、軌條、葉鐵、電鍍鐵板、電鍍鐵線、鋼の條、竿、板、箍等も輸入増加せるが、其他の金屬は何れも減退せり。

本年は内亂の爲め兵器及彈藥の日本より輸入せられたるもの頗る多く、其價額一千四百〇九萬兩に上り、前年の九十倍に増加せり。

砂糖の輸入も亦顯著なる増進を示し、赤糖、白糖、車白糖、冰糖共に大に増加せり。本年に於ける

各種砂糖の純輸入總額は八百七十三萬九千擔、此價額五千九百九十萬兩にして、前年に比し數量に於て二百五十四萬二千擔、價額に於て一千五百一十一萬兩の増加を示せり。

其他の輸入品中輸入増加の大なるものは、木材、革靴、煙草、縫針、衣類及帽子、紙類等にして、木材(角材)の輸入額は五百九十七萬五千兩に上り、前年に比し一百五十七萬四千兩の増加を示せり。但鐵道枕木は價額に於ては稍増加せるも、數量に於ては減少せり。

革靴の輸入額は二百五十三萬兩にして、前年に比し約一百三十萬兩の増加を示せるが、其増加の主因は露人向として哈爾濱に輸入せられたるもの多かりしに在るべく、本年米國製品の哈爾濱に輸入せられたるもの少からざる額に上れるが如し。

縫針の輸入額は約二百四十八萬兩にして、前年に比し約十四割の増加を示せり。

本年の輸入貿易に於て減退の最も甚しきは、小麥粉其他の穀物類にして、前年は六十七萬八千八百四十九擔、此價額二百八十二萬兩に上りしが、本年は僅に四千五百五十一擔に減ぜり。

茶の輸入も本年は著しく減少し、四萬八千擔、此價額九十三萬兩に下り、前年に比し價額に於ては約八割の減少を示せり。蓋支那に輸入する茶は主として粉茶にして、磚茶製造用に供せらるるものなるが、本年は磚茶の輸出頗る不振なりし爲め、隨て原料たる粉茶の輸入も亦此の如く激減を見るに至れるなり。

米の輸入も前年は九百八十三萬七千擔、此價額二千九百五十八萬四千兩に及びしが、本年は六百九十八萬四千擔、此價額二千二百七十八萬兩に減ぜり、此は支那に於ける米作が豊稔なりしに因るなり。

石油の輸入も本年は大に減退せり。即ち前年は一億五千七百九十一萬一千「ガロン」此價額三千三百三十五萬兩に上りしが、本年は一億一千〇四十四萬三千「ガロン」、二千八百三十二萬兩に下り、價額に於ては五百〇二萬兩の減少を示せり、蓋「ホルネヲ」油、「スマトラ」油及日本油は何れも輸入増加せるも、米油の輸入が著しく減退せる爲め、總額に於ては斯の如き減少を見るに至れるなり。米油の輸入額は前年は一億〇七百四十四萬六千「ガロン」、二千四百〇五萬兩に上りしが、本年は僅に四千八百五十二萬七千「ガロン」、一千二百二十萬兩に下れり。

石炭の輸入額は一百〇七萬五千噸にして、是亦前年に比し三十六萬九千噸の減少を見たり。此は主ら運賃の激騰に原因せり。而も之が爲め支那に於ける石炭の産額は頗る増加せるが如し。

前記各品の外輸入減少の著大なるものは、鐵道機關車及炭水車、水産物(昆布以)人參、袋類、バラフキン蠟、靴足袋等にして、紙捲煙草も數量に於ては増加せるも、價額に於ては前年に比し七百二十八萬兩の減少を見たり。

茲に注意すべきは阿片貿易にして、支那は從來年々巨額の阿片を輸入せしが、前年四月一日以後關東州及青島租借地の外は全く之が輸入を見ざるに至れり。蓋一九一一年の英清阿片續約に依り、同年

天	天	ジ	綾	晒
(三十六吋以下)	(三十二吋以下)	ー	下	同
布	布	ン	リ	金
其	其	ス	木	巾
英	日	英	綿	(紋)
他	本	日	ル	織)
國	國	本	其	(ツア シイ ユリ)
他	國	國	日	
	他	國	英	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	
			國	
			國	
			米	
			其	
			日	
			本	</

綿	ベネシアン(平織著色)	二〇四八四三	一四二七二四六	二七三、六九四	一、三九五、七八四
綿	ボブリン(同上)	九三、三七	八四六、一七〇	八〇、一六八	五、〇、九六〇
綿	ラネチン(同上)	五九七、三六三	三八〇、五二八	四五五、六六八	二、〇、〇、六五四
綿	イタリアン(紋織)	九六、八七六	五七七、八〇五	一三三、五七八	六三、四五一
綿	ベネシアン(同上)	二六、三四〇	二四四、一七二	三四、七七一	二九九、〇〇四
綿	ポプリン(同上)	四八〇、六六五	四七八三、〇四四	三〇九、七四三	二、八五八、二六三
綿	ラスチング(同上)	一四六、二六〇	九五六、〇七三	一八九、一二七	九九〇、〇八九
色	金巾(平織)	六九八、〇九	四三八八八五	一〇二、六八八	五二、九〇六
同	(平織香港染)	七三、二二	二〇、一六九六	六、一四八二	一九、一八七六
綿	フラインネル	三七四、一九二	一、八一六、〇三三	六八六、四五六	二、七六六、六二五
同	(綿、日本製)	四八三、四四五	一八四、〇八〇	一三七、八〇三	一八四、四八七
同	(綿、日本製)	九二、四一三	三六三、八九六	二〇三、二九九	七、〇、九九三
染	糸ヲ以テ織リタル各種綿布	八、五〇八、三七四	一、五五〇、八四六	一六、七五七、九五四	二、一六二、〇九九
日	本白木綿	八三、八七三、七六九	六、一九一、五六八	一〇六、六四七、〇二〇	六、四〇六、八〇六
日	本縮綿	七、三三三	九一〇	一、五〇七、五九〇	一、二六、二四二

四〇

絨	天鵝絨	二、〇四五、九二二	三八八、三九五	一、九一九、八六九	三三、一〇三二
綿	手巾	三、五四二、二五〇	一、四五四、二七四	三、三九八、五八九	一、一三二、九〇〇
綿	毛布	四四八、〇七三	二七六、四九五	六九二、一五二	三〇七、二二
同	(日本製)	五七、二八一	二四八、七〇二	六六、六四二	二、三、九六八
綿	浴巾	九八、六四二	九七、三四五	八三、八六八	七、四、四五四
同	(日本製)	四三九、八四二	三九、四一四	六六三、二六八	六〇八、二〇二
同	(日本製)	九一、三二五	七九、四五八	一五九、四九六	一五四、二二三
同	(日本製)	一、四六四、二八二	一、〇三四、一六一	一、六二二、三五九	九二、六四一九
綿	英國	四五二	一九、一三〇	五二	一、八六三
綿	香港	三六〇、九六三	一六、三九六、〇三六	三、三五二	九二、七三八
綿	印度	七四五、九五九	三五、三五八、八八四	一九五、七九八	三〇、五五六、二七八
綿	日本	七、二四五	二九七、五四六	一〇、六五、四四四	二九、〇八六、九四四
同	其他	一七、〇一三	一四七、五四一	四、〇六三	四〇四、九八三
綿	縫糸(球ノ)	四〇二八	三七九、七九八	四、三九七	三、二、〇、三四三
同	(染糸、瓦斯機又ハマル)	七五七	七五、八六七	八一三	三六六、四三七
同	(セライズシタルモノ)				八一三、二六

四一

綿	縫	絲(絲捲ノ)	四八八、八二二	一、五六七、九五七	五七、五三三	一、七九〇、三三七
毛	綿	交織	八九九、〇二七	一、〇五三、八二八	一、二八九、四四六	一、二七、三九八
毛	綿	織	一七五、三七三	二、三三〇、〇〇〇	一、六九、二一八	一、七二、四二四
毛	製	品	七二、二九三	一、五二、三二五	九七、七九六	一、五五八、二八五
毛	ブランケット	及膝掛	三、六六六	一〇一、三〇三	六、九九四	一、六一、九三三
毛	織	衣服	三、四七	八八、〇一〇	六、三三八	一、三四、五七二
毛	絲	及紐	一、七、七、五、七	五、四、五、〇、四、四	二、六、九、三、九、三、七	七、三、八、〇、五
雜	帆	布及綿帆	四、四、五、五、六、八	五、〇、五、三	五、一、四、四、〇	五、三、八、〇、四、四
金	絹	織物	一、二、一、九、六、二	一、〇、〇、四、一、九	一、〇、五、四、〇、三	八、九、〇、四、七、九
金	絹	布(絹ト其他トノ)	三、九、八、四、二	一、〇、五、九、七、九、二	三、四、九、六、四、〇	一、一、〇、八、八、六、三
金	交織	絹物	一、二、五、一、四、六、八	四、八、五、九、二	八、七、〇、二、七、〇	三、三、五、三、六、七
金	人造	絹物	一、二、五、一、四、六、八	四、八、五、九、二	八、七、〇、二、七、〇	三、三、五、三、六、七

銅	條	板	線	等	銅	一、九、一、五、七	七、五、九、八、一〇	一、六、三、九	七、二、五、八、七
銅	其	條	竿、板、釘	及線	銅	一、〇、三、八、二	四、三、一、三、四	一、〇、三、三	四、六、七、七、八
銅	塊	及	錠	銅	二、二、四、〇、八	四、二、七、二、九、二、四	二、七、六、五、八	一、一、三、五、六、〇	四、六、六、七、八
鐵	其	他	鋼	鐵	二、六、四、三、八	二、六、四、三、八	—	二、三、〇、九、七	—
鐵	及	軟	鋼	鐵	一、三、六、五、八	二、〇、四、一、九、〇	六、七、一、三	七、七、三、〇、五	—
鐵	鑄	鐵	及鍊	鐵	八、九、七、九、〇	七、三、二、一、五、二	六、一、八、〇、一	三、九、六、七、一、八	—
鐵	ア	ン	グ	ル	三、八、八、三、〇、八	三、一、三、四、五、五、三	二、二、九、九、五、五	一、五、二、九、〇、一、四	—
鐵	條	鐵	線	鐵	九、七、五、九、九	四、八、九、二、六、一	一、〇〇、四、一、六	四、七、四、八、二、五	—
鐵	屑	鐵	線	鐵	七、三、二、五、四	六、四、四、四、六	八、九、六、九、九	七、九、四、三、〇、二	—
鐵	釘	鐵	鐵	鐵	五、〇、七、八	四、〇、〇、二、九、七	—	—	—
鐵	釘	鐵	鐵	鐵	一、九、八、八、〇、四	一、七、七、二、四、二、四	三、〇〇、八、一、七	二、四、四、一、八、八、一	—

玩具及運動具	洋傘 (歐米製)	同 (日本製)	同 (其他)	車類	鐵道機關車及炭水車	鐵道客車及貨車 (アチムカ)	トラクション及ロードエンジン	自働車	自働車	自働車	自轉車	其他	其	酒類其他飲料	麥酒及黑麥酒
71,650	287,066	2,436,788	28,543	71,761	2,100,781	407	1,172,981	3,193	2,902,636	362,531	1,298,334	110,101	1,124,336		
532,925	336,883	2,145,108	74,693	3,578,124	1,198,733		2,585,348	17,065	1,372,655	703,135	2,585,348	933,000			

五四

蒸溜酒 (火酒ヲ除ク)	葡萄酒	其他飲料 (サイダー等)	肥料
1,341,788	1,400,104	106,334	844,031
684,393	1,126,769	81,690	877,260

尙ほ大日本貿易年表に依り、我對支那輸出重要品の輸出額を示せば左の如し。
 ○日本より支那へ輸出重要品種類及輸出額

品目	大正七年		大正六年	
	數量	價額	數量	價額
昆布及刻昆布	72,949.06	4,255,018	50,069.33	2,688,886
乾魚及鹹魚	9,341.62	1,668,422	14,370.73	1,796,798
寒天	184.73	226,182	693.38	664,950
其他水産物	159,991.59	3,179,111	147,978.92	1,751,206
精糖	3,241.83	603,710	2,274.34	392,400
氷糖	7,949.18	4,102,903	10,047.72	4,084,361

五五

清酒	麥酒	椎蓴	罐頭	紙捲	革粧	洗粧	化粧	人粧	絹綿	綿製	綿製	綿製	メ
酒	酒	物	食	煙草	石鹼	石鹼	石鹼	用品	綿子	浴巾	製巾	製巾	メ
一、七四一、八一四	二、九二一、四四六	六、五九二、七三二	二、一〇、五〇〇	二、一〇、五〇〇	三、〇七四、六四七	七、五三〇	一、四六、七六〇	一、三六六、〇三〇	三、八八、二六九	八、三六、八〇四	一、八九、二八二	六、九三、一七五	
一、二七八、一六三	九、一〇、四四六	八、四四、四三九	八、七四、二六三	二、五七、九七六	二、〇八〇、九八九	二、七六、七〇五	一、四九、一八九	八、九八、九四七	五、四八、八五四	二、二六、八四五	二、一〇、五〇二	一、四七、四九二	
一、三九九、二九	六、一六、四五〇	九、八九、〇六	八、九七、四九九	三、三六、五三三	一、三三、九四八	一、四〇、五七二	一、七四、六三三	五、五三、〇三四	一、〇、二九、七六八	二、五、一七四七	一、五〇、四三九〇		
八四、一、一〇	五、九四、四三	五、五五、一三一	三、七、六八八	一、八七、一四六	一、七五、七七七	二、四四、七、五〇〇	二、三、六〇〇	六、九六、〇七七	四、四八、七九二	一、一八、九三六	一、〇九、六九〇	二、二九、五六〇	

五七

綿織	綿織	綾木	綿巾	生巾	天竺	其他	帶子	石炭	銅線	鐵道	燐寸	其他
織	織	木	巾	巾	他	他	子	炭	線	道	寸	他
六、九五〇、六四七	四、六八、五二	一、〇四、四八五	九、〇八、七四三	一、〇七、七九一	二、九六、五七〇	一、九二、二〇六	八、一三、六三八	二、五、六〇八	七、五八、九一一	三、五九、〇四一		
八、六三、五五三	六、四六、一四一	二、七、九七七	二、四七、八五七	二、五二、九五八	七、六三、五四三	二、二八、四〇五	一、〇、八七三	九、二六、六五〇	五、六七、七五九	一、五二、五〇一	一、九〇、〇三二	三、五三、八四六
一、〇六、九七二	七、四八、八九九	一、二、五四九	一、九四、八〇四	一、六四、〇六〇	三、六三、九九五	一、六九、〇五六	一、二八、七九九	八、三六、八〇四	一、五七、六三六	二、六七、九三一		
八、五八〇、一三二	八、六〇、九〇	二、二、六七	四、一三、八〇一	二、七、五七六	六、三三、〇六一	二、五、〇八〇	九、七三、八六五	六、三三、八二九	一、〇八、六五二	七、七九、〇五二	九、五八、三七九	一、九三、七三三

五六

賣	鈕	同	印	鳥	連	東	其	陶	セ	硝	其	鐵	掛	學
	鈕	同	刷	子	史	洋	他	磁	メ	子	硝	製	置	術
	(金屬製)	(其他)	料	紙	紙	紙	紙	類	器	ト	鏡	品	計	器
	藥		紙	紙	紙	紙	類	類				品	品	計
	三、七、九、四、四	二、八、〇、七、九	八、二、六、三、三、四	一、三、四、六、七	一、二、九、〇、三、九	二、五、一、二、五、九				一、〇、二、七、五、七、五	四、八、七、八、五、七、五			一、〇、〇、二、一、一
	九、七、九、四、八、四	一、六、八、六、九、九	二、二、五、五、〇、六	七、九、六、六、八	一、三、一、四、八、〇	一、五、四、三、二、六	五、三、四、五、〇、〇、一	二、一、〇、六、一、七、一	三、七、五、五、八	九、〇、〇、九、六、五	二、三、五、三、四、二	六、七、五、七、六、三	九、四、八、八、六	四、七、四、五、三、五
	一、四、六、二、五、六	一、九、〇、四、九、七、六	五、二、一、五、六、〇	五、一、九、九、六、三	三、四、七、五、四、四	二、一、一、五、六	一、〇、一、四、一、二、七、〇	五、一、三、〇、〇、七、七	二、一、三、一、三、七、七	二、一、三、一、三、七、七	四、一、四、三、七、四、四	六、八、七、四、六、三	二、九、九、五、三	
	八、六、三、二、一	五、八、五、一、八、九	三、五、四、五、六、〇、五	二、九、八、〇、五、二	三、三、一、二、五、六	一、五、五、二、〇、〇	二、〇、二、四、三、七、二	一、九、八、〇、三、四、六	一、八、四、四、六、八	七、五、三、七、一、五	二、一、三、一、三、七、七	四、一、四、三、七、四、四	二、九、九、五、三	
	五、八													

紡績機及織布機	印刷機及同部分品	其他ノ機械及同部分品	洋傘	洋燈及同部分品	靴類	玩具
一、三、九、七、四、八、〇	二、七、七、六、五	三、二、六、二、四、一、九	二、六、六、一、七、一、三	一、五、九、五、五、八、八	四、九、五、九、二、三	一、〇、五、八、五、二、四
四、六、六、三、五、四	一、〇、九、二、九、二	二、八、四、六、三、六、六	一、八、八、八、二、四、九	一、二、六、九、六、六、〇	三、五、四、三、九、七	四、八、三、三、四

第二款 輸出

支那に於ける一九一八年の輸出貿易額は四億八千五百八十八萬三千兩にして、前年に比し二千二百九十五萬一千兩の増加を示せり。蓋本年は支那の二大輸出品と稱せらるゝ生絲及茶の輸出は大に減退し、獸皮、銅、安知母尼、錫、鳥卵、獸脂の如きも亦頗る減少せりと雖も、棉花、鐵礦、植物油、豆粕、小麥及小麥粉、柞蠶絲及屑絲、麥稈真田等の輸出が著しく増加せる爲め、總額に於ては前記の如く増進を見るに至れるなり。

本年棉花、銑鐵並に植物油の輸出増加は驚くべきものあり。先づ棉花に就て見るに其輸出額は一百

二十九萬二千擔、此價額三千七百八十八萬七千兩に上り前年に比し數量に於ては四十五萬九千五百擔價額に於ては一千七百八十五萬一千兩の増加を示せり。此は日本に於ける需要極めて盛なりしに由るなり。されば本年は棉花の收穫大に増加せるに拘らず、相場は著しく騰貴し、三月中通州棉花一擔四十五兩に上り、前年の最高相場に比較し三兩の高値を示したり。從來支那の紡績工場にて使用する支那産棉花は二十兩より二十五兩の間に在りしか、本年は秋季最も下落せし時にも、通州棉は二十八兩を唱へたり。而して最近數年間は一季節中に二兩の高低を見ることは稀なりしが、本年は相場の高低甚しく、二十兩の開きを見るに至れり。

銑鐵の輸出額は前年は約二百四十三萬三千擔、此價額約五百二十九萬兩なりしか、本年は二百八十七萬四千擔、一千六百七十三萬兩に上り、價額に於ては一千一百四十四萬兩即ち三十一割六分強の増加を示せり。本品は殆んど全部日本へ仕向けらるゝものにして、従前は漢陽銑鐵と本溪湖銑鐵のみなりしが、本年は山西銑鐵の天津を経て輸出せらるゝものも亦多額に上りたり。山西銑鐵は土法に依り無煙炭を用ひて製造せるものにて、品質劣等なるを以て從來未だ曾て輸出なかりしが、本年は相場暴騰せると、日本に於ける鐵の需要急なりしとの爲め、始めて之が輸出を見るに至れるなり。其産地は山西省汾州、平陽府、絳州、平定州、澤州等とす。

本年植物油の米國に對する輸出は極めて旺盛にして、爲めに其輸出總額は四千一百〇二萬兩に上り、

前年に比し一千一百三十萬兩の増加を見たり。植物油中輸出額最も大なるは豆油にして、二百二十七萬七千擔、此價額二千四百九十八萬兩の多きに達し、價額に於ては前年に比し六百七十八萬兩、戰前即ち一九一三年に比し二千一百二十五萬兩(六十二割六分)の増加を示せり。豆油は戰前は歐洲に輸出せらるゝもの尤も多かりしが、近年は主として米國に仕向けられ、「グリセリン」、硬化油等の製造に供せらるゝに至れり。

落花生油の輸出額は五十九萬擔、此價額七百七十七萬兩にして、前年に比し一百九十八萬兩、戰前に比し四百三十四萬兩の増加を示せり。此は從來實にて輸出せられたるものが、船腹及運費の關係上、油として輸出せらるゝもの増加せるに由るなり。

豆油及落花生油は従前は樽詰として輸出せしが、一九一七年頃より石油罐に容れ輸出するに至り、之が爲め石油空罐の價格大に騰貴し、大連、營口等に於ては一個一元内外となれり。されば三井物産會社大連支店にては、本年五月中約一萬噸の豆油を「タンク」船に積載して、一時に「シャトル」に向つて輸送するに至れり。

桐油も亦米國に於ける需要頗る多かりし爲め、其輸出總額は四十八萬九千擔、五百九十八萬兩に上り、前年に比し八萬八千擔、一百十四萬兩の増加を見たり。

棉子油も前年米國に於ける棉實の收穫減少せる結果として、同國に於ける需要多く、爲めに其輸出

額は十三萬三千擔、一百二十四萬六千兩に上り、價額に於ては前年の二倍に増加せり。

豆粕の輸出も本年は大に好況にして、其額一千六百三十六萬七千擔、二千九百八十八萬兩に達し、前年に比し八十四萬四千擔、六百十二萬五千兩の増加を見たり。此は日本に於ける米價騰貴の爲め、其需要増加せるに由るなり。

小麥及小麥粉は從來滿洲以外の地よりは之が輸出を許さざりしが、一九一七年四月以降上海より始めて小麥粉の輸出を許し、又本年十月以後青島より小麥の輸出を許すに至りてより、其輸出額隨て大に増加し、殊に小麥粉の増加最も顯著なりき。小麥粉の本年の輸出額は二百〇一萬二千擔、八百四十一萬兩にして、前年に比し數量に於ては二倍有半、價額に於ては約四倍に増加せり。小麥も一百八十一萬五千擔、四百〇二萬二千兩の輸出あり、前年に比し二十五萬八千擔、七十四萬五千兩の増加を見たり。又麩の輸出も大に増加し、一百二十二萬四千擔、一百五十九萬五千兩となり、前年に比し價額に於ては一百十六萬四千兩の増加を示せり。

麥稈眞田の輸出は前年は甚だ振はざりしが、本年は米國に於ける需要増加せる爲め、稍盛況を呈し、其輸出額五萬三千擔、四百十七萬兩に達し、前年に比し一萬三千擔、一百七十六萬兩の増加を見たり。

柞蠶絲は滿洲に於ける産額は減少せるに拘らず、其輸出は増加せり。此は日本に於ける絹紬の對米

輸出増加に伴ひ、本品の需要増加せるに由る。本年柞蠶絲の輸出總額は大柞小柞を合せて八百九十二萬兩に上り、前年に比し二百九十一萬兩の増加を示せり。

石炭も輸出好況なりしもの、一にして、其額一百七十萬八千噸、八百十四萬七千兩に上り、前年に比し十三萬二千噸、二百八十七萬兩を増加せり。此亦日本に於ける需要多かりしに因るなり。ゴークスも亦日本に於ける需要増加せる爲め前年に比し二萬五千餘噸、五十七萬兩の増加を見たり。

本年の輸出貿易に於て減退最も甚しきは茶にして、紅茶、綠茶、磚茶を合せて僅に一千四百〇六萬兩の輸出を見たるに過ぎず。之を前年に比較すれば一千四百八十三萬兩の減少なりとす。而して各種製茶の中輸出尤も振はざりしは磚茶にして、紅磚茶、綠磚茶を合せて七萬五千擔、一百二十六萬二千兩に止まり、前年に比し數量に於ては三十六萬八千五百擔、(八割)價額に於ては六百二十四萬六千兩の減少を示せり。蓋磚茶は主ら露國に輸出せらるゝものなるが、本年は同國內亂の爲め、莫斯科に對しては輸出全く杜絶し、西比利亞方面に對する輸出も亦例年の如くならざりしに由るなり。

紅茶の輸出額は十七萬五千擔、五百七十三萬一千兩にして、前年に比し數量に於ては二十九萬七千擔、(三分)價額に於ては六百六十六萬四千兩の減少を示せり。蓋紅茶の輸出先も露國を第一とし、次は米國及英國等なるが露國は内亂の爲め、西比利亞以外は貿易皆無となり。英國は政府に於て輸入を制限せる爲め、米國は瓜哇茶の競争ありし爲め、共に輸出大に減退するに至りしかば、終に前記の如き

結果を見るに至れるなり。

緑茶は紅茶に比し輸出先に於ける外國茶の競争は少かりしと雖も、而も爲替及運賃の騰貴は價格の上に影響し、爲めに米國に於ける需要減退するに至り、又摩洛哥其他北阿弗利加方面は戦争の影響に由り船腹缺乏せる爲め輸出大に減少し、中央亞細亞（ボカラ、サマルカンド等）も亦輸送困難の爲め輸出杜絶せるを以て、本年の輸出總額は十五萬一千擔、七百〇四萬四千兩に下り、前年に比し數量に於て四萬五千擔、價額に於て一百九十二萬二千兩の減少を見たり。但孟買を經由して南波斯及阿富汗に仕向けらるゝ緑茶の數は一九一七年以來大に増加せり。此は錫蘭緑茶が製造を停止せるに由るなり。生絲及野蠶絲の輸出總額は前年は十二萬五千八百二十擔、七千九百十四萬九千兩に及びしが、本年は十二萬四千九百五十四擔、七千四百六十八萬二千兩に下れり。

生絲の輸出額は白絲黃絲を合せて九萬六千三百六十六擔、六千五百七十六萬三千兩にして、前年に比し一萬一千二百十八擔、七百三十七萬三千兩の減少を示せり。蓋本年歐米に於ける生絲の需要は頗る多かりしと雖も、船腹の不足、運賃及爲替相場の暴騰等の爲め、大に輸出を阻碍せられ、加之黃絲の印度方面に於ける需要減退せる爲め、其貿易は一層不振に陥るに至れり。但野蠶絲の日本に對する輸出は大に増加せること前に述べたる所なり。尙ほ屑絲及絹織物（絹綉及絹紬）の輸出も増加せり。

本年安知母尼（純錫）の輸出は前年に比し三百八十二萬兩を減じ、錫（塊）も一百二十萬兩を減ぜり。

金屬類中減退最も甚しきは銅（塊及錠）にして前年は約六十九萬擔、九百九十五萬兩の輸出ありしが、本年は僅に四萬五千擔、八十三萬兩に下り、數量に於ては十五分の一に減ぜり。蓋支那より輸出する銅塊銅錠は制錢を鑄潰したるものなるが、本年は銅價の下落と銀價の昂騰との爲め、此の如く激減を見るに至れるなり。

本年安知母尼、鉛、鉛及亞鉛、鐵は輸出減少せしか、鐵は約一百十五萬擔を増加せり。其他の鑛石類も前年の二十七萬五千擔、一百十五萬三千兩より六十八萬七千擔、七百八十二萬七千兩に上り、價額に於ては七百〇一萬五千兩の増加を示せり。此は滿鐵及「タングステン」鑛の輸出増加せるが故にして、右六十八萬七千擔の中、滿鐵鑛四十九萬一千二百擔、「タングステン」鑛十五萬五千五百擔を占めたり。

皮革類は羊革及毛皮類を除くの外何れも減少せり。牛皮の如きは前年は一千七百三十七萬兩の輸出を見たりしが、本年は一千三百四十七萬兩に減じたり。又山羊皮は前年に比し二百十三萬兩を減じ、綿羊皮も五十一萬七千兩を減じ、革類も一百九十二萬兩の減少を見たり。

獸脂（豚脂を）も露國輸出不振なりし爲め、前年に比し二百六十一萬兩の減少を示せり。

鳥卵の輸出も本年は大に振はず、蛋白質黃、生卵、貯藏卵、冷蔵卵を合せも前年に比し三百二十六萬五千兩を減じたり。

豆類は白豆の輸出は大に増加せるも、大豆(豆)及豌豆の輸出は減退したり。而も大豆油及大豆粕の輸出は著しく増加せること前に述べたるが如し。本年に於ける大豆、大豆油及大豆粕の輸出額を合計するときは六千九百二十萬兩(邦貨一億六千四百萬圓)に達せるを見る。

左に重要輸出品の一九一七、一八兩年に於ける輸出額比較表を示すべし。

○重要商品輸出額

品目	一九一八年		一九一七年	
	數量	價額	數量	價額
綿布類	一五,五七七	八五四八六	二,五〇四	九九,六八六
生金	二八,二二二	二〇〇,七九七	三,八〇六	一九,二九二
生シヤン	一七,四三四	二五,二六八	三,八〇一	一八,一二七
綾木綿	四六,八三六	二,七四,七〇五	四八,八八七	二,九二,三三二
土布	五二,四八三	一,二六八,六八六	四九,五五三	一,〇七九,三八〇
同(フワンシー)	二七,七四五	一,〇〇〇,四九七	二七,六一五	四五,一〇四
綿織	四〇,二八〇	一六五,〇〇五	四四,五七四	一三二,五七八
明礬				

動物類	一九一八年		一九一七年	
	數量	價額	數量	價額
牛類	二八,八五二	八六四,三八九	四〇,四八五	一,二二,六八〇
山羊	四,九九六	一四,七九七	五,六九〇	一八,一八〇
馬	四六一	一七,一八三	九四一	三〇,六六六
豚	二五,九五二	二,二四三,五四〇	二七,一〇九	二,三三,二六七
家禽	二,八七五,五〇五	六六三,二五五	三,一五〇,五三二	七三,一四八
綿	二,三,七二四	二九,一八七	二九,一七三	一五,六八九
其	二,二四一	一三四,七七七	一九三	六,四三三
他(驢及騾ヲ含ム)	六,七二,二八三	四四,八三八	七,三四二,四九二	五五,一三〇
袋類	一六,三六,八五四	二九,八八二,八二九	一五,五二,七三九	二,三,七五八,〇七五
豆類	一〇,一〇八	二四七,九四三	六,二五五	一四,五,三四
及	一六,一〇二	四四,一六九	一〇,六三四	二五,八七七
竹	四七五,二〇四	一,二九二,五七五	一三九,八八八	四七,二〇二
器類				
精類				
豆類				
青				
白				

乾	海	鱈	其	小	蒜	麻	落	同	獸	頭	藍	腸	豚
蝦	月	鱈	他	粉	布	生(殼附)	毛	髮	脂	魚	魚	魚	魚
二〇九〇	七三九九	一五二	二二,三九九	二〇,一八九九	一八三,一四四	一四,二九二	四三,四〇〇	四八七,三九九	一七,五四六	一四,三〇二	八三,六四二	一八九八〇	一八九八〇
五九,六九八	三五,一七九	一一〇,七六	三五〇,九九九	八四〇,五七七	七六,五〇八	一九,五八二	一六〇,五七一	二,一九,五九二	四六四,三三六	三三七,七〇〇	六九,三九四	一八四四〇,三四	九五,四七三
二,一三九	七,三四	二〇五	七六,二二六	七九八,〇三一	三三,二六七	一五,七六三	一〇二,六六五	五八,六五三	一六〇,四一	二二,四四	七六,一四八	一五六,一四一	七一
五六,八八四	三〇,四五七	一六,〇〇	三五四,八八九	二,九二,三〇	九二,一五六	一九四,四五一	三五五,六四八	一,六五六,二〇〇	四三三,八七四	五〇,一七六	六五五,六四六	二四八,〇九九	六一八,四二

扇	羽	同	植	棕	大	黃	芋	爆	薪	海	鮮	乾	蛤	錫
子(各種)	毛(鴨、鷄等)	(彩羽毛)	織	物	及	及	及	及	產	物	魚	魚	魚	魚
四,九五九	三五七二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四八九,二四	四六三,七九	七,一六四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三九,七三	五三,二五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四三七,一五〇	八〇三,五〇八	一〇,一八九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

七〇

茶	胡	菜	落	棉	豆	植	沒	銅	錫	同	鐵	水	同	鉛
	麻		花			物	食				(塊其他製造セサル)			
	子		子			子					(塊)			
油	油	油	油	油	油	油	子				(鑛)	銀		
二二,五五四	二二,六三三	五,五四七	五九〇,六七七	二二,二七二	二二,二七二	二二,二七二	二二,二七二	四四,七二〇	一四,八二七	六,二六二	二,八〇四	四,八五一	一五,四九三	七,六七〇
二二,四四三	二二,三三三	六八,六四〇	七,一八九五	二四,九八二	二四,九八二	一,〇三〇	一,〇三〇	八三,六四九	一一,〇〇九	一,三五九	一,六七二	七,七八一	四九,一五八	一一,三五四
一五,七〇六	八,九〇四	一六,三三八	四六三,五五三	一,八九二	一,八九二	四,一五〇	四,一五〇	六八,八二三	一九,六三七	五,二二三	二,四三二	四,三三〇	三三〇,七〇〇	二二,三七八
一七,四〇三	二二,〇八六	二九,五三六	五,一八九	一八,一九六	一八,一九六	八九,六六六	八九,六六六	九,九四六	一一,〇四八	一,〇一八	五,二八八	七,四七六	七七,六五九	一六,四一一

七三

同	安	金	麝	藥	鳥	同	同	獸	肉	甘	花	蓆	草	勃
	知	屬							肉					
	母	及							(鮮肉及凍藏肉)					枝
(鑛)	尼	石	香	材					(鮮肉及鹹肉)	類	草	筵		(乾)
七,九三九	二六,九九九	二四,〇〇七	二四,〇〇七	二四,〇〇七	八〇,二六	三〇,四六三	三〇,四六三	二九三,〇一五	八四,九九六	五九,三五五	五二,二六	二〇,九六三	二六,九二五	二六,四三五
二二,八一〇	二二,三七七	四四,六五五	三二,五八七	一七,〇一七	二七〇,六八七	一,三七,四八七	六〇〇,七四	二七〇,六八七	一,三七,四八七	六九四,〇二六	四三,七三八	一,四九,九〇八	一,三六,六二四	五四九,〇六八
六三,八二三	五七,八〇九	一五,九五四	一五,九五四	五四,六一九	三九五,五二二	一七,二七五	二〇,一九三	三九五,五二二	一七,二七五	七六,九七三	七二,二四	三,六〇六	四六,四九七	三五,二七四
二二,三七〇	六,〇六一	五三,三九一	三,三〇〇	五七,四八五	二九八,四〇四	一,一六八	五,六七四	二九八,四〇四	一,一六八	七〇,九五三	五五,〇三三	一,九〇八	三〇,〇〇五	一,〇〇九

七一

山	綿	羊	羊	毛	毛
				三三八〇三六	二二六〇六
				四九二一〇	一三、六四一
				一〇、二七、七二	三三九、三五四
					一〇、五三、〇一〇
					四六九四三〇

尚ほ大日本貿易年表に依り支那より日本への輸入重要品の輸入額を示せば左の如し。
 ○支那より日本へ輸入重要品種類及其輸入額

品目	大正七年		大正六年	
	数量	額	数量	額
米	二二〇、二九四	九六七、六四三	二四、九六七	二二〇、二〇一
大豆	八九六、二八一	五、五八四、三七二	八九三、二九八	三、九三六、九二六
其他の豆類	八〇八、九三四	五、〇七一、四四二	三五六、一一〇	一、六六六、三三二
胡麻	一八九、九六五	二、三三二、五〇二	六四、二〇七	六六八、二七三
菜子	六二、一二七	五、八八八、一四二	四一五、〇五二	二、九五〇、八八三
棉子	二四、二八六	一、〇三六、九六二	三五六、一四七	一、〇、二九、一一三
其他の穀物及種子	六五八、六七一	四、一七六、三〇〇	四、四一六、一六〇	一、七七八、〇三九
鳥卵	一三、七九九、五七九	一、八四〇、二九〇	九、五八九、九三二	八九五、二六九
獸皮		八二二、四七一		四、五八〇、三三五

品目	大正七年		大正六年	
	数量	額	数量	額
豚皮	一、〇三〇、六〇三	三、一三三、一八六	四七〇、〇八八	一、〇、二七、六九九
其他の獸毛	五六七、二九八	二、六二二、六九七	二一九、四一八	一、三、七、六八五
獸骨	三三六、五二四	一、六一四、四四〇	四三〇、六六三	一、四八五、〇一九
蓖麻子油	五七三、六八九	一、九七三、三四	三〇六、七〇九	六、五、四三三
獸脂	七三〇、四八二	一、九三六、四二四	七、七三三、三〇三	一、九二八、五六三
其他の油蠟及同製品		六九五、二九二		二、二五、一六八
藥材、化學藥、製藥類		二、一七三、五一五		九九五、六八四
漆	一、五四一、三九六	一、三四二、八九二	一、二二一、八七〇	九、〇、六、三〇三
實棉及綵綿	一、三三、一〇〇	八、七八五、六四四	六、四三、四六七	三〇、五九六、三〇九
苧麻類	二七、二七、五五三	七、〇六一、八四一	二八、四三、七七〇	四、五三、一八二
羊毛、山羊毛、駱駝毛	二、八五七、七七七	二、二八七、一五三	二、三三六、〇八三	一、四四〇、八三三
蘭	二、三三二、二五九	三、一九七、七七一	一、二六三、二六二	一、三六、一八〇
野蠶絲	一、三三九、二九二	五、五七八、五二九	四三六、五三四	一、八七五、九六六
天竺	二、二、八二二	一、五八、四四四	二四、三七七	一、四九、八九八
石炭	五、四、五二二	九六五、二五五	四八五、六九三	五、四、八、八六九

鐵	銑	錫	眞	籐	木	麥	包	穀	豆	其	其
鐵	鐵	(塊及錠)	銅(同)	青	籐	眞	眞	及	精	油	肥
五,九四九,九六二	二,三二〇,二一〇	二,三二〇,九一九	九八五,三五五	二,六三九,一九八	一,七七〇,〇六一	九三九,〇八一	七,四三三,四八九	九三三,〇七一	二,六七七,六四二	一,三三二,六七一	一,〇六〇,四五二
九六〇,一〇七	四,一八二,二五八	一,六五七,四二〇	八四二,〇〇七	三三三,二八〇	二,五五五,八〇八	三,七九,五七三	一,〇六四,六〇八	三,五九九,三四七	二,二三四,三三七	六,一〇五,一七三	一,〇六四,二二三
四,九三四,二九五	一,八二,九四六,九八一	三,八二二,七三三	四一,九三六,二六五	一,四五六,四八一	一,二七二,八五〇	六,八一六,〇二二	六,八一六,〇二二	一,六五〇,九〇	三,四八三,〇八五	一,〇六四,二二三	一,〇六四,二二三
二,三八二,〇一一	九,三三七,六七八	四〇〇,五五六	九,五四五,二九九	一,八六九,四四八	八,九二,二七〇	三,五三,三九九	七,五一五,九九	四七〇,六〇五	一,〇九二,五〇六一	三,八七七,六〇二	八,一七四,三七

第五節 船舶の出入

本年支那各開港に出入せし船舶の噸數は汽船七千四百二十萬一千三百七十二噸、帆船六百〇四萬六

千三百三十四噸、合計八千〇二十四萬七千七百〇六噸にして、之を前年に比較すれば帆船は五十九萬三千九百九十噸を減せるに過ぎざるも、汽船は六百〇六萬五千三百五十三噸の減少を示し、更に之を一九一四年に比較すれば、汽船は二千六百九十二萬四千八百六十八噸(八分)帆船は八十一萬一千六百三十九噸の減少を示せるを見る。

本年出入噸數最も減少せるは英國船にして前年に比し三百六十六萬四千八百四十八噸を減せり。此は戦争の爲め喪失し、又は軍用として徴發せられたるもの多かりしに由る。之に次ぐは露國船にして六十三萬三千六百七十一噸を減せり。尙ほ佛國船は三十五萬四千六百六十八噸、諸威船は二十一萬六千六百八十噸、葡國船は十三萬九千〇八十八噸、和蘭船は十三萬六千六百八十二噸、丁抹船は五萬五千三百九十噸を減じ、支那船も亦二百二十四萬〇一百十三噸を減じたり。

日本船の出入噸數は二千五百二十八萬三千三百七十三噸にして、前年に比し七十萬一千七百二十六噸の増加を示せり。蓋日本船は戦前即ち一九一三年までは支那に於ける出入船舶總噸數の二割五分強を占むるに過ぎざりしが、本年は三割一分五厘を占むるに至れり。

日本船以外に噸數増加せるは米國船及伊國船にして、前者は八萬九千七百六十六噸、後者は一萬三千八百八十四噸を増加せり。

支那各港に於ては前年已に船腹の不足を感ずること甚しかりしが、本年は更に著しきを加へたり。

一月中英國船の出帆するもの僅に一隻ありたるのみなりしが、一月三十一日英國政府が特別貨物輸送の爲め船舶を徵發してより、一層英國船の出入減ずるに至れり。されば歐洲向貨物の輸送は何れも船腹を得るに苦しみ、運賃も隨て大に暴騰したり。休戦後に於ても英國政府が船舶の管理を繼續せる爲め、船腹の不足は毫も緩和せられず。日本船も亦船隻少きに、航路遠隔なる爲め其廻航少く、歐洲航路の運輸は依然困難を訴へたり。日本船の運賃は上海馬耳塞間穀類毎噸一千志にして、其他の貨物は一千二百志を要したり。

米國航路の運賃も九月までは毎噸五十五弗(英)乃至六十弗の高率を保ちしが、九月中新嘉坡船隻の太平洋航路に加入し、競争を開始するに至りてより五十弗に下落し、休戦條約調印後は更に四十弗に下落したり。

左に一九一七、一八兩年に於ける出入船舶細別表を示すべし。

○出入船舶數

船籍	一九一八年		一九一七年	
	隻數	噸數	隻數	噸數
北米合衆國	三、一九	一一、四九二	三、〇九	一一、一五五
埃地				
利國				

船籍	一九一八年		一九一七年	
	隻數	噸數	隻數	噸數
英	三、二〇四	二九、九一三、三六九	三、四九〇	三三、五七、二七
丁	八六	八六、八四七	八三	一四三、三三八
和	四六	五七、五七七	三七四	七二、四三九
佛	三六五	三三〇、二二三	三三	五八四、八九一
獨			二二三	一七〇、五四
伊	四六四	二八、七九六	四七六	一四、九二
日	二四九六	二五、二八三、三七三	三、四五四	二四、五八一、六四七
諾	一九一	二五、七六九	三七〇	四七、四三九
葡	一七三	六〇、三五〇	四五六	一九、四八
露	一九四九	七九、五五九	三、二七六	一、四二九、二〇〇
瑞	八	二〇、一六八	一〇	二六、六九
支	四、六三六	一六、九四、五三三	四、六四三	一八、五二七、九五七
同	八七一、六四	四、七九、八一	一〇〇、四七八	五、五〇、四八〇
合	一、九、五七	八〇、二四七、七〇六	二、三、四七三	八六、九〇七、〇四九

○輸出入品價額船籍別一覽表 (一九一八年) (貿易額單位兩)

船籍	出入船舶數		外國貿易額		沿岸貿易額		貿易額計
	隻數	噸數	輸入	輸出	移出	移入	
北米合衆國	三、一九	一一、二四九二	二、五八六、六二四	二、三三七、九〇九	八、七九、九三三	六、〇七、二七六	六四、〇五、七二二
埃地							
利國							

船籍	出入船舶數		貿易額		合計
	隻數	噸數	外國貿易額	沿岸貿易額	
英吉	三二,〇四	二九,九一	三九,〇四	一〇,九五	七三,六三〇
丁抹	八六	八六,八四七	二,七七一	二,三四八	五,一六五
和蘭	四六	五七,五七七	一四,九三九	三,五八二	一九,〇二一
佛蘭	三五	三〇,二二三	一〇,四六五	八,八六	三〇,五五一
獨逸	四六	二八,七九六	三,九七一	九,六九二	三五,四七九
伊太	四六	二五,二八三	三,九七一	九,六九二	三五,四七九
日本	二四,九六一	二五,二八三	三,九七一	九,六九二	三五,四七九
日威	一九一	二五,七六九	三,九七一	九,六九二	三五,四七九
諾威	一七二	六〇,三五〇	七,六七三	三,八二四	一七,三二一
露亞	一九九	七五,五九	六,五二二	一,八四七	一七,三二一
瑞典	八	二〇,一六八	一,二四七	六,六六	二,三七一
支那	一三〇,八〇二	二二,七八二	七,四一六	七,四一六	五,八〇三
合計	一九三,五六七	八〇,二四七	七,四一六	七,四一六	三,三六六

備考 外國貿易額中の輸出には外國品の再輸出額を含む。又沿岸貿易額中の移出には外國品の再移出額、移入には外國品の再移入額を含む。

○同上 指數 (一九一八年)

船籍	出入船舶數		貿易額		合計
	隻數	噸數	外國貿易額	沿岸貿易額	
北米合衆國	一一,六〇	一,五二	四,五三	一,一六	二,七二
英吉	一六,〇四	三,七二	二,二五	三,七七	三,一一
丁抹	〇,〇四	〇,一一	〇,四七	〇,〇一	〇,三三
和蘭	〇,三三	〇,七二	一,六三	〇,二二	〇,八二
佛蘭	〇,一九	〇,二九	二,七六	〇,〇四	一,一九
獨逸	〇,二四	〇,〇四	〇,〇三	—	〇,〇一
伊太	〇,二四	〇,〇四	〇,〇三	—	〇,〇一
日本	一一,九〇	三,二五	五,三二	二,六一	三,八一
日威	〇,一〇	〇,三三	〇,七三	〇,四二	〇,五六
諾威	〇,〇九	〇,〇七	〇,一五	〇,〇一	〇,〇七
露亞	一,〇一	〇,九	二,三四	〇,五六	一,三七
瑞典	—	—	〇,〇三	—	〇,〇一
支那	六,七	二,七	一,一八	三,七	二,三五
合計	一〇〇,〇〇	一〇〇,〇〇	一〇〇,〇〇	一〇〇,〇〇	一〇〇,〇〇

第六節 金銀の輸出入

一九一八年に於ける金銀の輸出入状況を査するに、金は輸入一百二十二萬八千兩、輸出二百二十八萬二千兩にして、一百〇五萬四千兩の輸出超過を示し、銀は輸入三千六百十二萬四千兩、輸出一千二百六十二萬九千兩にして、二千三百四十九萬五千兩の輸入超過を示せり。而して金は殆んど全部香港より輸入せられ、銀は香港より一千三百八十二萬四千兩、米國より一千五百二十九萬九千兩、日本より五百五十二萬七千兩を輸入し、其餘は英領印度並に佛領印度支那等より輸入せられたり。前年は金銀合計に於て一千二百十三萬六千兩の輸出超過を見たりしが、本年は合計二千二百四十四萬二千兩の入超を示し、前年と反比例をなせり。而して本年輸出せる金の殆んど全部、銀の約四分の三は香港に仕向けられたるを以て、此は尙ほ事實上は支那に残存せるものと看做すことを得べし。左に金銀輸出入額五ヶ年對照表並に本年の金銀輸出入國別表を示すべし。

○金銀輸出入額 (單位兩)

年	輸 入		輸 出	
	金	銀	金	銀
一九一四年	八六、一六七	一六四、八七四	一、一四〇	一三、八六一、九一七
一九一五年	八八、八七	二〇七、七五〇	二、七二四	一八、二一〇、四〇〇
一九一六年	一九九、〇三、一七	三七〇、八三〇	三、六一八	八、一〇二、二六八
一九一七年	二三八、七七八	二七五、七九二	二、六七三	五、〇三四、七五
一九一八年	一、二八、三三	三六、二四、三九	三、九七五	二、二八一、六五九

○金銀輸出入國別表 (一九一八年) (單位兩)

國 別	金		銀		銅 貨 合 計
	條、砂、其他	貨 幣	條及馬蹄銀	貨 幣	
歐羅巴洲			一、四八、二〇五	二、四九五	二、四九五
亞米利加洲			四七〇、八五	一五、二九、〇三〇	一五、二九、〇三〇
亞細亞洲			二〇、三三九	八、五、四三九	八、五、四三九
英領印度 (緬甸ヲ含ム)			一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
英領海峽 殖民地			一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
西貢及東京			三、六、九〇〇	一、九、四〇〇	五、九、四〇〇
暹 羅			三、三、〇〇〇	二、八、〇〇〇	二、八、〇〇〇
香港及澳門			一、一、五、六四二	一、九、〇、七〇	三、三、六、九
蘭領印度			一、一、三、六九	一、三、八、四、〇七九	一、三、八、四、〇七九
日 本 (臺灣ヲ含ム)			五、四、九、〇、三六二	三、六、一、八五	五、五、五、六、五、四七
朝 鮮			四、一、四、〇〇	三、六、一、八五	四、五、三、五、五、七二、四九九
浦潮斯德					
合 計	四〇八、九五五	八一九、三六七	一、三、八、三、四、三三、六九九、一七五	三、四、九、五、〇、五、三、六、二、四、三、三九	三、九、七、七、三、七、三、九、二、三、二八

二、輸 出 (單位兩)

國 別	金		銀		銅貨合計
	條、砂其他	貨幣計	條及馬蹄銀	貨幣計	
歐羅巴洲	4,486	4,486	1,077	1,077	5,563
亞米利加洲					
亞細亞洲					
英領印度 (緬甸包含)			2,388,888	1,558	2,390,446
英領海峽 殖民地			3,397	2,297	5,694
西貢及東京			5,917	600,011	605,928
暹羅	18,867	18,867		3,100	22,067
香港及澳門	226,468	226,468	1,675,624	6,461,515	7,363,617
蘭領印度			6,233	29,133	35,366
日本 (臺灣包含)	3,942	3,942	86,479	85,076	89,018
朝鮮	10,377	10,377		45	10,422
浦潮斯德			2	45	47
合 計	2,240,811	2,288,657	5,457,453	7,171,851	10,917,961

附 錄 支那在留各國人數

國 籍	一九一八年		一九一三年		比較增(+) 減(-)
	商館數	在留民數	商館數	在留民數	
北美合眾國	234	5,766	231	5,340	+
奧地利	16	271	22	419	+
白耳義	20	360	13	178	+
伯刺西爾	1	16			+
英吉利	606	7,953	590	8,966	+
丁抹	23	479	24	354	+
和蘭	24	377	10	161	+
佛蘭西	156	2,580	106	2,291	+
獨逸	75	2,651	296	2,949	+
匈牙利	36	535	2	22	-
伊太利	443	15,995	39	355	-
日 本	11	279	7	249	+
諾威	1	1	7	249	+
葡 牙	43	2,427	46	3,486	+
露 亞	1,254	5,971	1,29	5,675	+

終